



変位センサコントロールユニット UQ1 シリーズ タッチパネルマニュアル



オプテックス・エフエー株式会社

www.optex-fa.jp

《目次》

1.	概要.....	4
1.1.	UQ1-02 シリーズタッチパネルサンプル概要.....	4
1.2.	概要手順.....	4
1.2.1.	運転までの概要手順.....	4
1.3.	システム構成.....	5
1.4.	システム構成一覧.....	6
1.5.	三菱 Q と GOT の接続.....	7
1.6.	GOT の通信設定(GT Designer3).....	7
2.	セットアップ方法.....	8
2.1.	三菱 Q のサンプルデータ転送.....	8
2.1.1.	GX-Works2 を使用する場合.....	8
2.1.2.	GX-Developer を使用する場合.....	8
2.2.	三菱 GOT のサンプルデータ転送.....	8
2.3.	Q パラメータ設定のユニットの I/O 割付.....	8
3.	データ処理概要.....	9
3.1.	UQ1-02 シリーズと三菱 Q/GOT のデータの流れ.....	9
3.2.	GOT から UQ1-02(センサユニット)のパラメータを変更した場合.....	10
3.3.	センサユニットから GOT へ測定結果を読み出す場合.....	10
4.	GOT 画面説明.....	11
4.1.	画面遷移.....	11
4.2.	ユニット選択画面.....	12
4.3.	測定結果画面.....	14
	UQ1-02 の情報が表示します。センサの測定値・判定出力・測定範囲外などの情報がリアルタイムに表示します。...	14
4.4.	グラフ表示画面 Q1～Q5 の値をリアルタイムに数値・折れ線グラフで表示します。.....	16
4.5.	計算式の設定画面.....	17
4.6.	センサヘッド設定画面.....	18
4.7.	キャリブレーション設定画面.....	19
4.8.	入出力設定画面.....	21
4.9.	判定出力設定画面 判定出力設定を設定します。.....	22
4.10.	ストレージ設定画面.....	24
4.11.	受光波形画面.....	26
4.12.	ストレージデータ画面.....	27
5.	シーケンサプログラム.....	28
6.	デバイス使用一覧.....	36
6.1.	三菱 GOT/QCPU の X/Y 割付一覧.....	36
6.2.	三菱 GOT のパラメーター一覧.....	37

改定履歴

改定日	改定内容
2011/10/3	新規作成

1. 概要

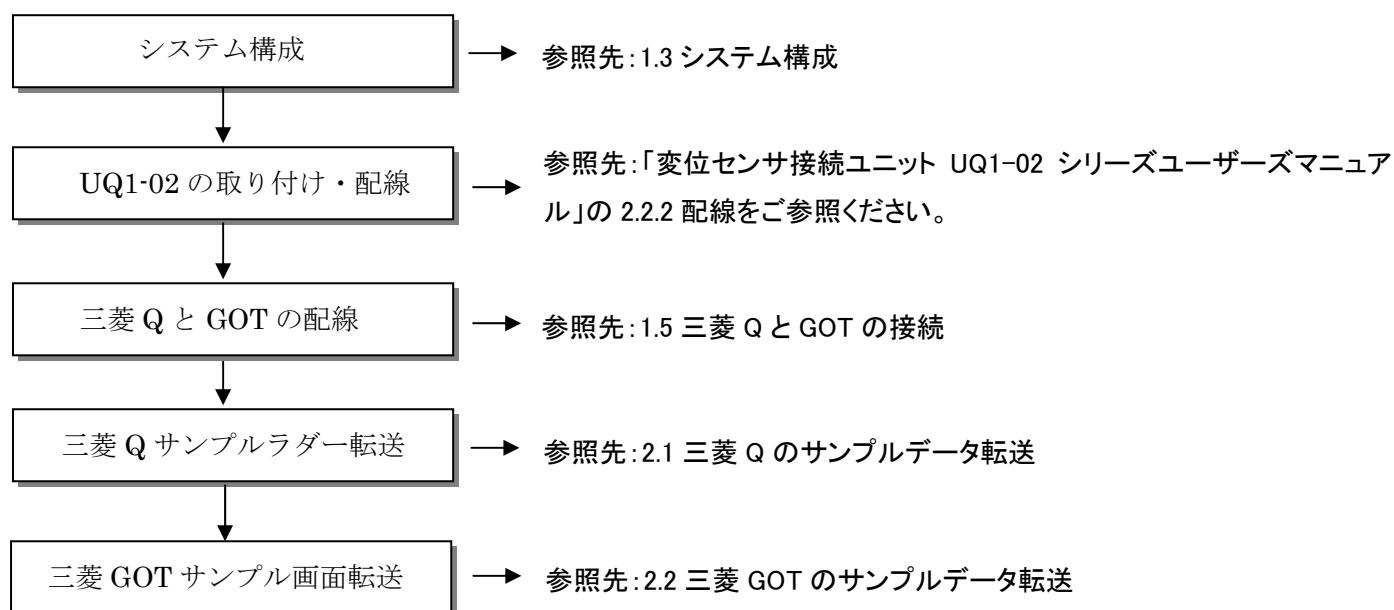
1.1. UQ1-02 シリーズタッチパネルサンプル概要

UQ1-02 シリーズサンプルはレーザ変位センサ CD33 シリーズと UQ1-02 と接続し、その結果を Q シーケンサプログラムと GOT タッチパネルで簡単に設定・表示をおこなうサンプルプログラムです。

- 1) サンプルデータを転送するだけで計測値を Q シリーズのデータレジスタへ格納し GOT 画面にそのまま表示できます。
- 2) CD33 の本体の設定、計測値の取得・演算・判定の操作を GOT 画面で操作が可能です。
- 3) UQ1-02 で内部に取り込んだストレージデータを GOT 画面に一括でグラフに表示することが可能です。
- 4) UQ1-02 の受光波形を GOT 画面にグラフで表示することが可能です。
- 5) 接続する UQ1-02 のユニットの 4 台まで設定することが可能です。
- 6) UQ1-02 は 1 ユニットで 2 台まで CD33 と接続が可能です。



1.2. 概要手順

1.2.1. 運転までの概要手順




1.3. システム構成

三菱シーケンサソフトウェア

 GX Developer  GX Works2

三菱タッチパネルソフトウェア

 GT Designer3



QCPU UQ1-02 ユニット(4 台まで)



USB/Ethernet

CPU 接続

CD33シリーズ(最大8台)

ヘッドA

ヘッドB



三菱GOTシリーズ



RS232C

1.4. システム構成一覧

No	シリーズ	品名	備考
1	UQ1-02 シリーズ 本体	UQ1-02	最大 4 ユニット(自ユニット含む)
2	GOT シリーズ 本体	GT1675-**** 内蔵インターフェース RS-232C	解像度 VGA タイプ 640 × 480 ドット
3	GOT シリーズ ケーブル	GT01-C30R2-6P	QCPU 直結ケーブル 3m
4	三菱 Q シリーズ 本体	ベーシック QCPU ハイパフォーマンス QCPU プロセス QCPU,二重化 QCPU ユニバーサル QCPU,リモート I/O 局	※詳細は「変位センサ接続ユニット UQ1-02 シリーズユーザズマニュアル」を ご参照ください。
5	CD33 シリーズ 本体	CD33-(L)30N-422、CD33-(L)50N-422、 CD33-(L)85N-422、NCD33-120N-422、 CD33-250N-42	センサ本体(RS422 通信) 詳細は CD33 シリーズ取扱い説明書をご参 照ください。
6	三菱 Q シリーズ ラダーソフトウェア	GX-Works2 GX Developer	Ver1.45X 以降 Ver8.88 以降
7	GOT シリーズ 画面作成ソフトウェア	GT-Works3 GT-DesignerVer3.0	Ver1.22Y 以降

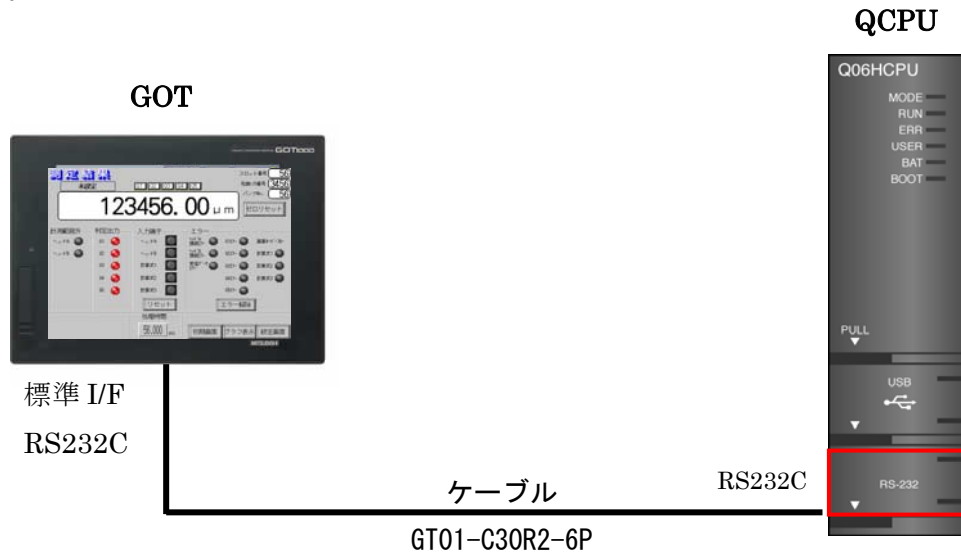
1.5. 三菱 Q と GOT の接続

サンプルデータは QCPU と GOT は CPU I/F と接続となります。

その他の接続方法でおこないたい場合は、GOT サンプルデータの接続機器設定の接続方法を変更してください。

QCPU 側も GOT との接続方法に応じた通信パラメータへ変更してください。

GOT が CPU 直結接続の場合は GOT の通信速度に自動変更されるため、QCPU 側の通信設定を変更する必要はありません。



1.6. GOT の通信設定(GT Designer3)

通信機器の設定	設定内容
メーカー	三菱電機
機種	MELSEC-QnA/Q/QS,MELDAS C6*
I/F	標準 I/F(RS232C)
ドライバ	A/QnA/L/Q CPU,LJ71C24,QJ71C24
ボーレート(bps)	115200bps
リトライ回数	0
通信タイムアウト時間(秒)	3
送信ディレイ時間(ms)	0
モニタ速度	標準なし

表 1.6 GOT の通信設定

2. セットアップ方法

2.1. 三菱 Q のサンプルデータ転送

サンプルラダーを QCPU に転送します。

2.1.1. GX-Works2 を使用する場合

GX-Works2 は圧縮ファイル形式(gwz)となります。

GX-Works2 に取り込む場合は GX-Works2 を起動し「メニューバー」→「プロジェクト」→「圧縮/解凍」の順番に実行してください。

任意のフォルダへ解凍後、プロジェクトを展開してください。

ファイル名	備考
CD33_UQ1-02_V1.00.gwz	三菱Q00UJCPU用

※異なる形式の CPU 場合は、ご使用になる機種に変更してください。

2.1.2. GX-Developer を使用する場合

ファイル名	備考
CD33_UQ1-02_V1.00.zip	三菱Q00UJCPU用

GX-Developer のファイルは zip 形式で圧縮しています。

圧縮ファイルを解凍後、解凍先のファイルを選択してください。

2.2. 三菱 GOT のサンプルデータ転送

GOT のサンプル画面を GOT 本体へ転送します。

ファイル名	備考
CD33_UQ1-02_V1.00.GTW	三菱GOTシリーズGT1675-**** 640×480ドット(VGA)

ご使用機種にあわせて GOT タイプを変更してください。

解像度が同じ場合はそのままご使用することができます。

解像度が違う場合は解像度に合わせて画面を修正してください。

2.3. Q パラメータ設定のユニットの I/O 割付

I/O割付設定	型名	点数
インテリ	UQ1-02	32点

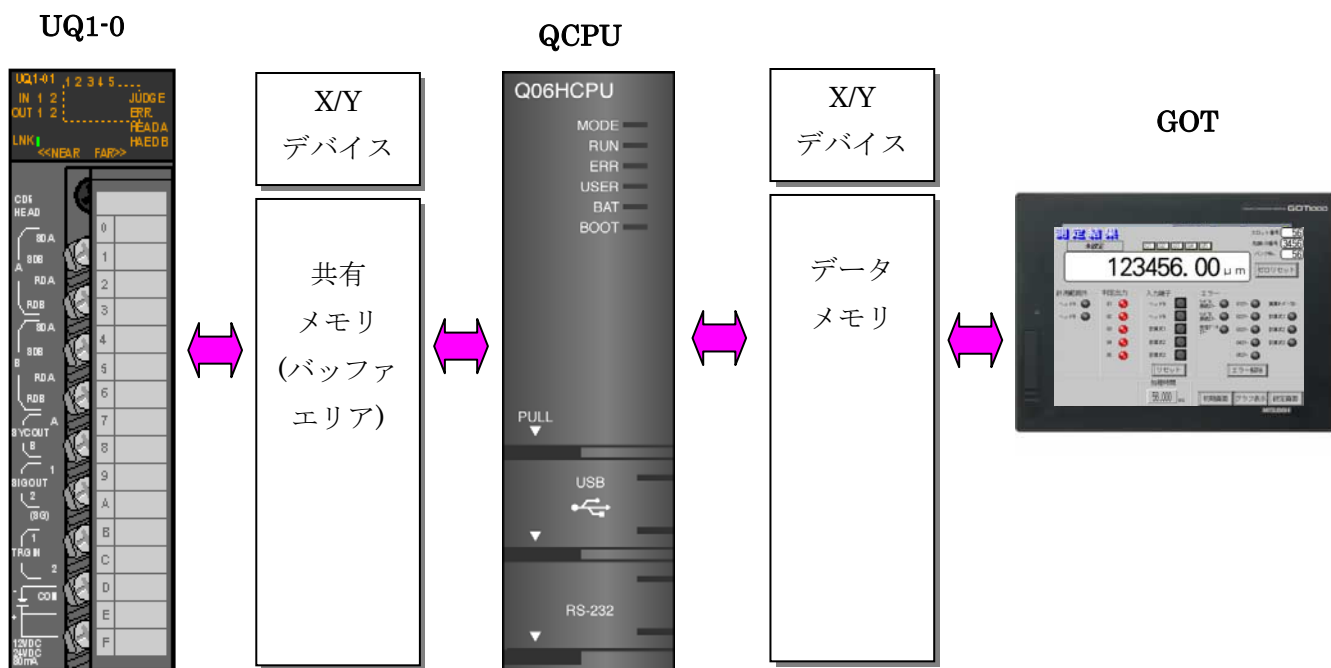
3. データ処理概要

3.1. UQ1-02 シリーズと三菱 Q/GOT のデータの流れ

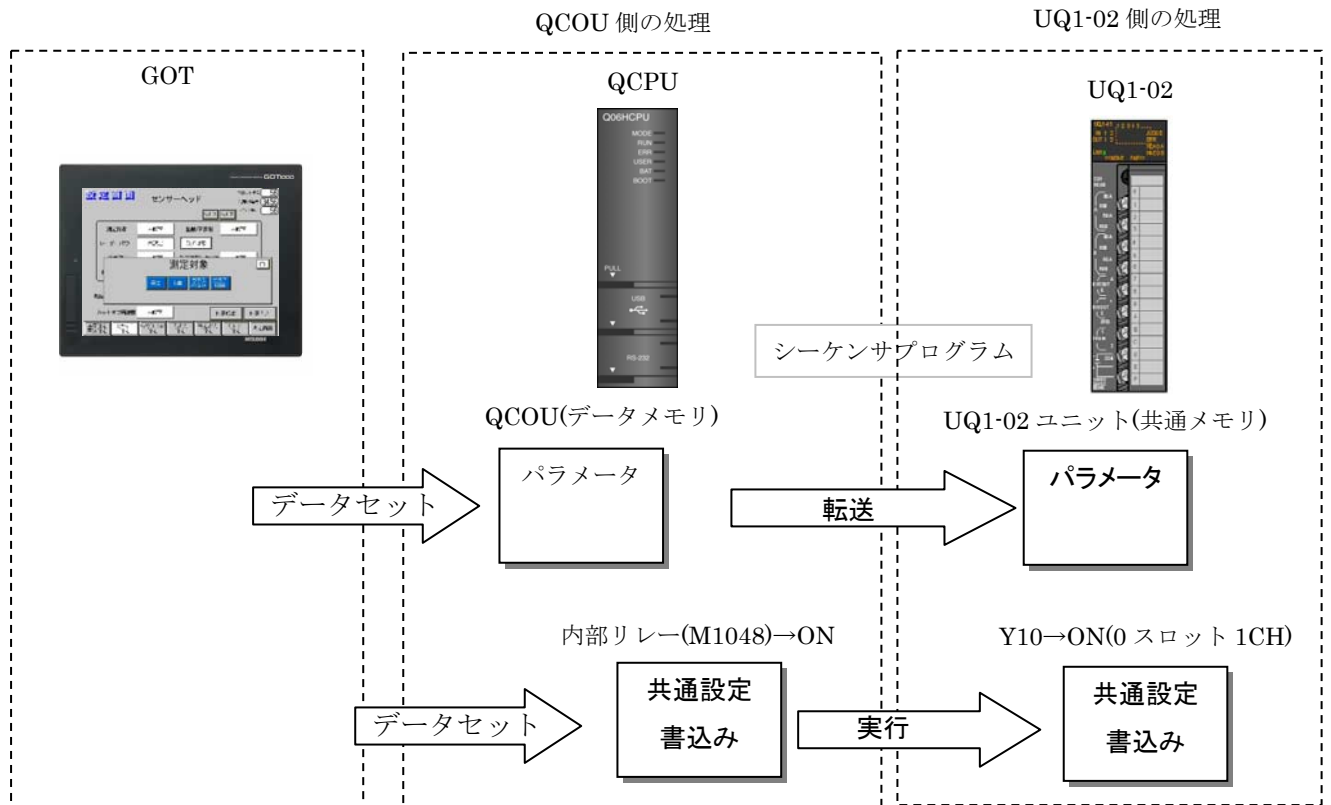
UQ1-02 シリーズと三菱 Q/GOT のデータは以下のような流れで処理されます。

UQ1-02 ユニットはバッファエリア経由で情報を読み書きします。本サンプルではいったんデータレジスタに書き込んだ後にシーケンサプログラムの処理で共通メモリへ書き込みます。

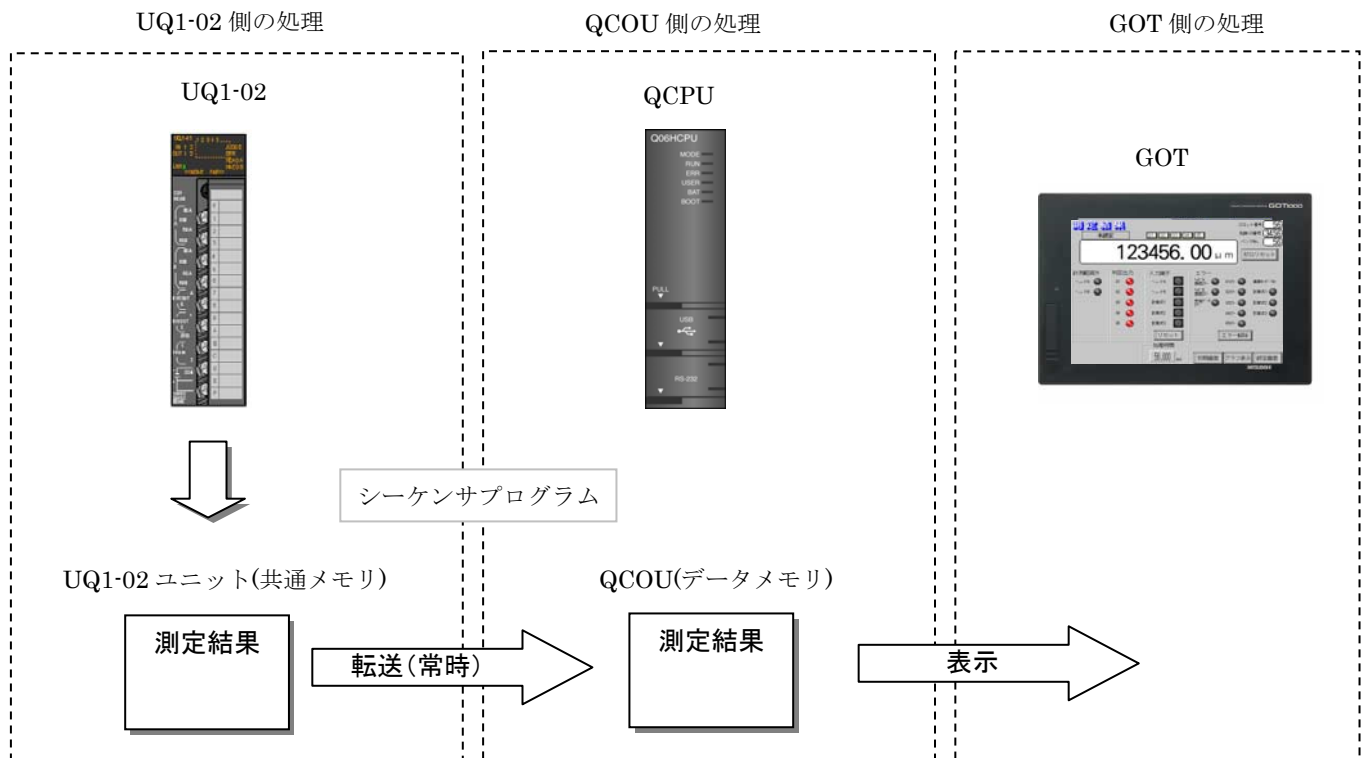
XY デバイスは GOT から直接入出力をアクセスする場合とシーケンサプログラムから内部リレー(M)経由でアクセスする場合があります。



3.2. GOT から UQ1-02(センサユニット)のパラメータを変更した場合

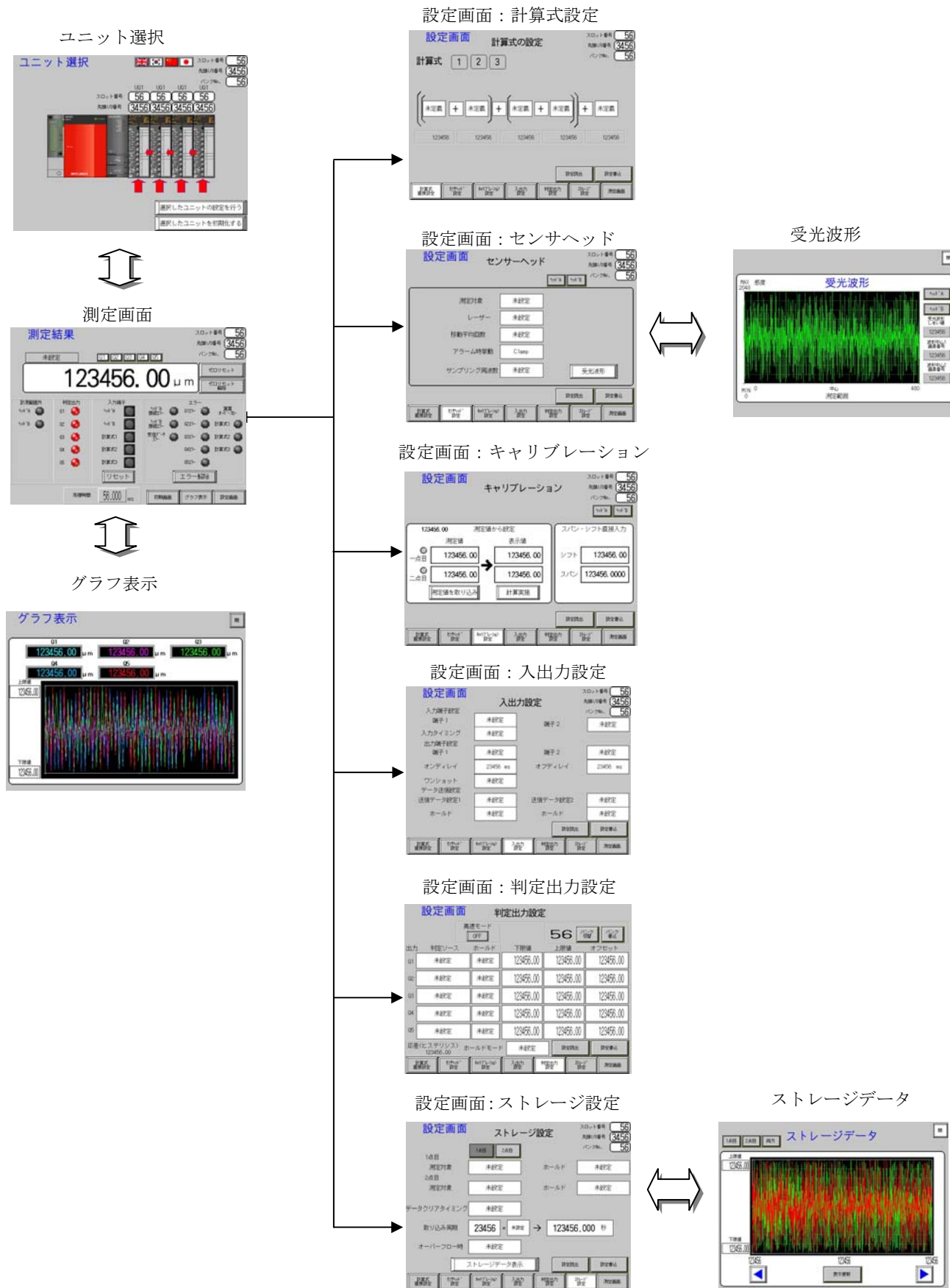


3.3. センサユニットから GOT へ測定結果を読み出す場合



4. GOT 画面説明

4.1. 画面遷移



4.2. ユニット選択画面

UQ1-02 の装着するスロット番号と先頭 I/O 番号を設定します。

UQ1-02 は 4 台まで設定することが可能です。

接続ユニット/I/O を装着する箇所に応じて設定してください。

使用しないユニット番号は初期値、スロット番号「0」、先頭番号「0」にしてください。

スロット番号、先頭 I/O 番号設定例（0 スロット目から UQ1-02 を連続 4 台接続する場合。）

UQ1-02 ユニット	スロット番号	先頭 I/O 番号
UQ1-02 1 台目	0	0000
UQ1-02 2 台目	2	0020
UQ1-02 3 台目	4	0040
UQ1-02 4 台目	6	0060

⑦

①

②

③

④

⑤

⑥

No.	項目	内容
1	スロット番号、先頭 I/O、バンク番号	現在選択しているスロット番号、先頭 I/O、バンク番号を表示しています。
2	スロット番号、先頭 I/O の設定	項目をタッチすると装着する UQ1-02 ユニットのスロット番号、先頭番号を入力することができます。
3	UQ1-02 ユニットの選択	GOT の画面上で表示・設定するユニットをタッチして選択できます。
4	UQ1-02 ユニット確認表示	UQ1-02 の選択したユニットに矢印が表示されます。
5	UQ1-02 ユニット表示画面切り替え	矢印が表示されているユニットの表示画面へ切り替わります。
6	UQ1-02 ユニットの初期化	矢印が表示されているユニットの設定情報を初期化します。 初期化ウインドウが表示し、「はい」を選択した後、Q1 ユニットをリセットすると初期化されます。
7	言語切り替え	日本語・英語・中国語・韓国語の言語に切り替えます。



4.3. 測定結果画面

UQ1-02 の情報が表示します。

センサの測定値・判定出力・測定範囲外などの情報がリアルタイムに表示します。

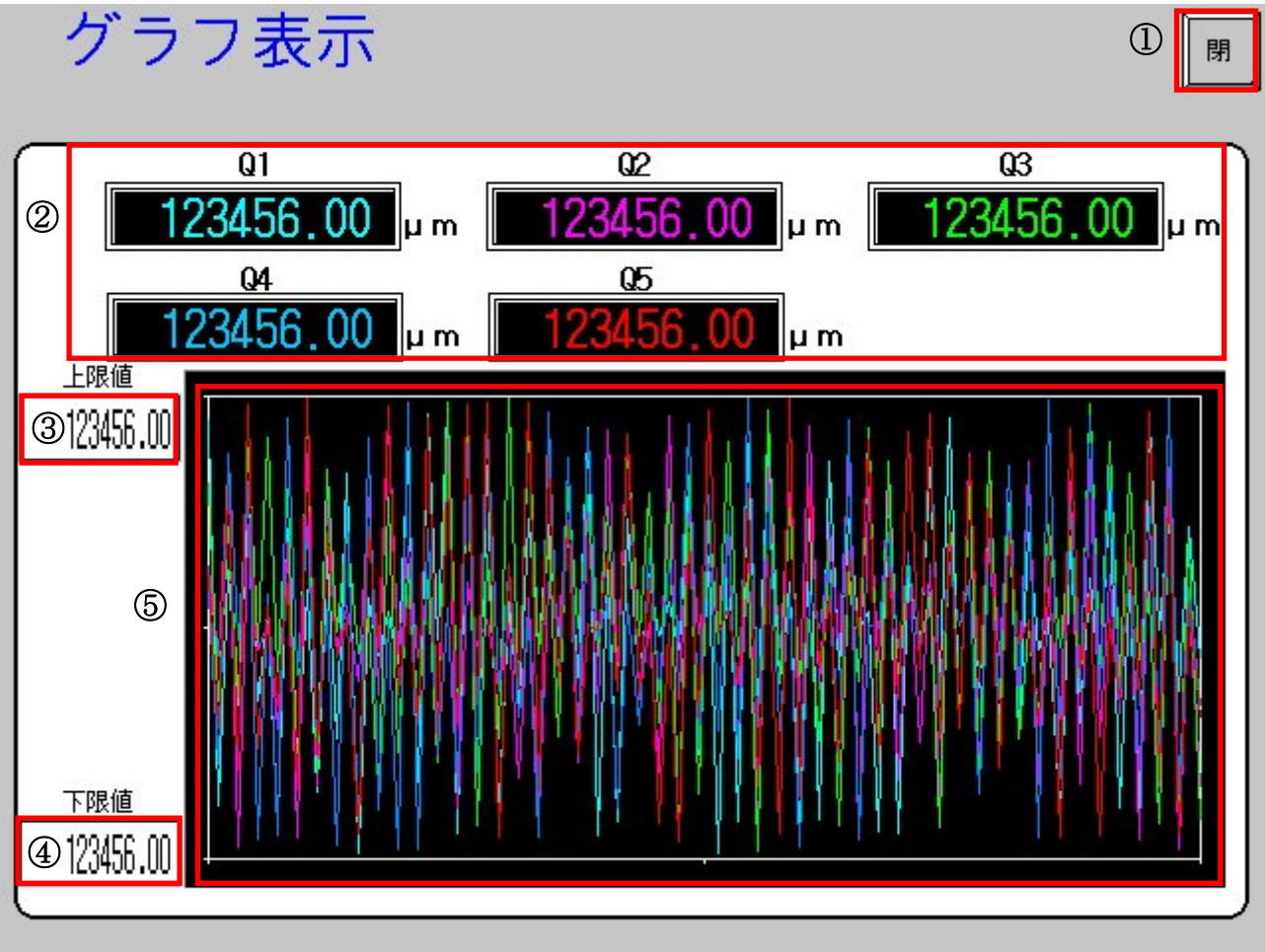
The screenshot shows the '測定結果' (Measurement Results) screen. It features a large central display showing '123456.00 μm'. Above this display are buttons for 'Q1' through 'Q5'. To the right, there are fields for 'スロット番号' (Slot No.) '56', '先頭I/O番号' (Start I/O No.) '3456', and 'バンクNo.' (Bank No.) '56'. Below the main display, there are sections for '計測範囲外' (Out of Measurement Range) with 'A' and 'B' indicators, '判定出力' (Judgment Output) with 'Q1' through 'Q5' indicators, '入力端子' (Input Terminals) with 'A' and 'B' indicators and '計算式1' through '3', and 'エラー' (Error) with 'Q1I' through 'Q5I' indicators and '計算式1' through '3'. At the bottom, there are buttons for 'リセット' (Reset), 'エラー解除' (Error Release), '初期画面' (Initial Screen), 'グラフ表示' (Graph Display), and '設定画面' (Settings Screen). A '処理時間' (Processing Time) field shows '56.000 ms'. Numbered callouts 1 through 17 point to various elements on the screen.

No.	項目	内容
1	スロット番号、先頭 I/O 番号	選択している UQ1-02 ユニットのスロット番号、先頭 I/O 番号を表示します。 エリアをタッチすると「ユニット選択画面」へ切り替わります。
2	バンク No.	選択しているバンク番号を表示します。 エリアをタッチすると「判定出力画面」へ切り替わります。
3	ゼロリセット	Q1～Q5 の中から選択した出力データをゼロリセットします。 (現在値をゼロとするようオフセットされます。)
4	ゼロリセット解除	タッチするとゼロリセット解除します。
5	判定ソース情報表示	選択した出力の判定ソースを表示します。
6	現在値表示	選択した判定ソースの現在値をリアルタイムに表示します。
7	測定範囲外	各センサが測定範囲外になるとランプが点灯します。
8	判定出力	判定出力で設定した下限値・上限値範囲を超えるとランプが点灯します。
9	入力端子	タッチすると各入力端子の ON/OFF を切り替える事ができます。
10	エラー状態表示	センサ内のエラー状態を表示します。

11	リセット	ON するとリセット動作を行います。 リセット動作を行うと各種「ホールド」モードの取得値をクリアします。
12	エラー解除	エラー発生時にこのデバイスを ON すると、エラーを解除します。
13	処理時間	センサの処理時間を表示します。
14	初期画面	ユニット選択画面へ切り替わります。
15	グラフ表示	グラフ表示画面へ切り替わります。
16	設定画面	設定画面の計算設定画面へ切り替わります。
17	Q1～Q5 出力	表示する出力を選択します。

4.4. グラフ表示画面

Q1～Q5 の値をリアルタイムに数値・折れ線グラフで表示します。



No.	項目	内容
1	閉	測定画面へ切り替わります。
2	Q1～Q5 の値の表示	現在の値を表示します。
3	グラフの上限値	グラフの上限値を表示します。0～2147483647 までタッチすると上限値を変更することができます。
4	グラフの下限値	グラフの下限値を表示します。0～2147483647 までタッチすると下限値を変更することができます。
5	グラフ表示	Q1～Q5 の表示をリアルタイムに表示します。(100ms 周期)

4.5. 計算式の設定画面

計算式を作成し、その計算を計測値として使用します。

※画面切り替え時にデータ更新があった場合、設定書込ボタンを押していないと設定変更ウィンドウが表示します。

No.	項目	内容
1	スロット番号、先頭 I/O 番号	選択している UQ1-02 ユニットのスロット番号、先頭 I/O 番号を表示します。エリアをタッチすると「ユニット選択画面」へ切り替わります。
2	バンク No.	選択しているバンク番号を表示します。エリアをタッチすると「判定出力画面」へ切り替わります。
3	計算式 1～3 の選択	エリアをタッチすると計算式 1～3 を選択できます。
4	計算式	計算式を入力します。 計算ソース 1～5 に演算対象、演算子 1～4 に演算子を指定します。 項目をタッチすると設定ウィンドウが表示します。
5	固定値	計算式の固定値を設定します。 計算式に固定値を指定すると有効になります。 タッチするとテンキーが表示されて値を入力できます。
6	設定読出し	センサの設定情報を本体からパラメータ情報を読出します。
7	設定書込み	センサの設定を本体へパラメータ情報を書込みます。
8	設定画面切り替え	各画面へ切り替えます。

4.6. センサヘッド設定画面

センサヘッドのパラメータ設定ができます。項目をタッチするとウインドウが表示されます。

※画面切り替え時にデータ更新があった場合、設定書込ボタンを押していないと設定変更ウインドウが表示します。

No.	項目	内容
1	スロット番号、先頭 I/O 番号	選択している UQ1-02 ユニットのスロット番号、先頭 I/O 番号を表示します。エリアをタッチすると「ユニット選択画面」へ切り替わります。
2	バンク No.	選択しているバンク番号を表示します。エリアをタッチすると「判定出力画面」へ切り替わります。
3	センサヘッド選択	センサの設定変更するセンサヘッドを選択します。
4	測定対象	センサの測定対象を変更できます。
5	レーザパワー	センサのレーザパワーの変更ができます。
6	感度設定	センサの感度の変更ができます。
7	移動平均回数	センサの移動平均回数を変更できます。
8	サンプリング周期	センサのサンプリング周期の設定を変更できます。
9	受光波形	受光波形画面に切り替えます。
10	設定読出し	センサの設定情報を本体からパラメータ情報を読み出します。
11	設定書込み	センサの設定を本体へパラメータ情報を書込みます。
12	設定画面切り替え	各画面へ切り替えます。

※各パラメータ設定の詳細内容は「UQ1-02 シリーズ、ユーザズマニュアル」の「共通メモリー一覧」をご参照ください。

4.7. キャリブレーション設定画面

スパン・シフトの値を入力できます。センサから直接値を取込みするとスパン・シフトの値を計算することができます。

The screenshot shows the 'Calibration Setting Screen' (キャリブレーション設定画面) with the following elements:

- Top Section:**
 - ① Slot No. (スロット番号): 56
 - ② Head I/O No. (先頭 I/O 番号): 3456
 - ③ Bank No. (バンク No.): 56
 - ④ Head Selection: Head A (ヘッド A) and Head B (ヘッド B)
- Main Section:**
 - Measurement Value Setting (測定値から設定):**
 - ⑤ One-point (一点目) lamp: 123456.00
 - ⑥ Two-point (二点目) lamp: 123456.00
 - ⑦ One-point display value (一点目の表示値): 123456.00
 - ⑧ Two-point display value (二点目の表示値): 123456.00
 - ⑨ Measurement value input (測定値を取り込み)
 - ⑩ Calculation execution (計算実施)
 - Span/Shift Direct Input (スパン・シフト直接入力):**
 - ⑪ Shift (シフト): 123456.00
 - ⑫ Span (スパン): 123456.0000
- Bottom Section:**
 - ⑬ Setting Read (設定読出)
 - ⑭ Setting Save (設定書込)
 - ⑮ Navigation Bar: Calculation Direct Setting (計算式直接設定), Sensor Head Setting (センサヘッド設定), Calibration Setting (キャリブレーション設定), Input/Output Setting (入出力設定), Judgment Output Setting (判定出力設定), Storage Setting (ストレージ設定), Measurement Screen (測定画面)

※画面切り替え時にデータ更新があった場合、設定書込ボタンを押していないと設定変更ウィンドウが表示します。

No.	項目	内容
1	スロット番号、先頭 I/O 番号	選択している UQ1-02 ユニットのスロット番号、先頭 I/O 番号を表示します。エリアをタッチすると「ユニット選択画面」へ切り替わります。
2	バンク No.	選択しているバンク番号を表示します。エリアをタッチすると「判定出力画面」へ切り替わります。
3	センサヘッド選択	センサの設定変更するセンサヘッドを選択します。
4	現在の測定値	ヘッド AB の選択した方の値が表示します。
5	取り込みポイントランプ 1 点目	1 点目をタッチ後ランプが点灯します。 「⑨測定値を取込み」を押すと測定値を取込みます。
6	取り込みポイントランプ 2 点目	2 点目をタッチ後ランプが点灯します。 「⑨測定値を取込み」を押すと測定値を取込みます
7	1 点目の表示値	タッチすると 1 点目の値を入力できます。
8	2 点目の表示値	タッチすると 2 点目の値を入力できます。
9	測定値を取込み	⑤⑥の測定値に値が入ります。
10	計算実施	1 点目・2 点目の測定値・表示値を入力後に計算実施するとシフト・スパンの値が格納されます。

11	シフト	シフト値が表示します。タッチすると値を変更できます。
12	スパン	スパン値が表示します。タッチすると値を変更できます。
13	設定読出し	センサの設定情報を本体からパラメータ情報を読出します。
14	設定書込み	センサの設定を本体へパラメータ情報を書込みます。
15	設定画面切り替え	各画面へ切り替えます。

※各パラメータ設定の詳細内容は「UQ1-02 シリーズ、ユーザズマニュアル」の「共通メモリー一覧」をご参照ください。

4.8. 入出力設定画面

入出力に関する設定をおこないます。

設定画面

入出力設定

入力端子設定
端子 1 ③ 未設定
入力タイミグ ⑤ 未設定
出力端子設定
端子 1 ⑥ 未設定
オンディレイ ⑧ 23456 ms
ワンショット ⑩ 未設定
データ送信設定
送信データ設定1 ⑪ 未設定
ホールド ⑬ 未設定

端子 2 ④ 未設定
端子 2 ⑦ 未設定
オフディレイ ⑨ 23456 ms
送信データ設定2 ⑫ 未設定
ホールド ⑭ 未設定

① スロット番号 56
先頭 I/O 番号 3456
② バンク No. 56

⑮ 設定読出 ⑯ 設定書込

⑰

計算式直接設定 センサハット設定 キャリブレーション設定 入出力設定 判定出力設定 レンジ設定 測定画面

※画面切り替え時にデータ更新があった場合、設定書込ボタンを押していないと設定変更ウィンドウが表示します。

No.	項目	内容
1	スロット番号、先頭 I/O 番号	選択している UQ1-02 ユニットのスロット番号、先頭 I/O 番号を表示します。エリアをタッチすると「ユニット選択画面」へ切り替わります。
2	バンク No.	選択しているバンク番号を表示します。エリアをタッチすると「判定出力画面」へ切り替わります。
3	入力端子設定 1	外部入力端子 1 の入力対象を選択します。
4	入力端子設定 2	外部入力端子 2 の入力対象を選択します。
5	入力タイミグ	入力タイミグを設定します。
6	出力端子設定 1	端子台 1 の出力する判定値を指定します。
7	出力端子設定 2	端子台 2 の出力する判定値を指定します。
8	オンディレイ	出力 ON する際の遅れ時間をms単位で指定します。
9	オフディレイ	出力 OFF する際の遅れ時間をms単位で指定します。
10	ワンショット	ワンショット出力を行うか設定します。
11	データ送信設定 1	左側に隣接するユニットへ送信するデータの内容を設定します。
12	データ送信設定 2	左側に隣接するユニットへ送信するデータの内容を設定します。
13	データ送信設定 1 ホールド	データ送信するデータのホールド動作を指定します。

14	データ送信設定 2 ホールド	データ送信するデータのホールド動作を指定します。
15	設定読出し	センサの設定情報を本体からパラメータ情報を読み出します。
16	設定書込み	センサの設定を本体へパラメータ情報を書込みます。
17	設定画面切り替え	各画面へ切り替えます。

※各パラメータ設定の詳細内容は「UQ1-02 シリーズ、ユーザズマニュアル」の「共通メモリー一覧」をご参照ください。

4.9. 判定出力設定画面

判定出力設定を設定します。

設定画面 判定出力設定

① ② ③

高速モード ④ OFF

56 バンク切替 バンク書込

出力	判定ソース	ホールド	下限值	上限値	オフセット
Q1	⑤ 未設定	⑥ 未設定	⑦ 123456.00	⑧ 123456.00	⑨ 123456.00
Q2	未設定	未設定	123456.00	123456.00	123456.00
Q3	未設定	未設定	123456.00	123456.00	123456.00
Q4	未設定	未設定	123456.00	123456.00	123456.00
Q5	未設定	未設定	123456.00	123456.00	123456.00

応差(ヒステリシス) ⑩ 123456.00

ホールドモード ⑪ 未設定 ⑫ 設定読出 ⑬ 設定書込

⑭ 計算式直接設定 センサ設定 キャリブレーション設定 入出力設定 判定出力設定 ストレージ設定 測定画面

※画面切り替え時にデータ更新があった場合、設定書込ボタンを押していないと設定変更ウィンドウが表示します。

No.	項目	内容
1	変更バンク番号	現在のバンク番号を表示します。 エリアをタッチすると値が変更できます。
2	バンク切り替え	①変更バンク番号へ切り替えます。
3	バンク書込み	①バンク番号へ設定したパラメータを書込みます。
4	高速モード	高速モードを ON すると処理時間を短くできます。
5	判定ソース	Q1～Q5 の判定ソースを設定します。
6	ホールド	Q1～Q5 の判定ソースのホールド設定をおこないます。
7	下限值	バンクごとに Q1～Q5 判定出力の下限しきい値を設定します。
8	上限値	バンクごとに Q1～Q5 判定出力の上限しきい値を設定します。

9	オフセット	Q1～Q5 の測定値に加減する値(オフセット値)を入力します。
10	ヒステリシス	Q1～Q5 が判定値を超えて ON した後の応差をヒステリシスとして設定します。
11	ホールドモード	ホールドモードの動作を設定します。
12	設定読出し	センサの設定情報を本体からパラメータ情報を読出します。
13	設定書込み	センサの設定を本体へパラメータ情報を書込みます。
14	設定画面切り替え	各画面へ切り替えます。

※各パラメータ設定の詳細内容は「UQ1-02 シリーズ、ユーザズマニュアル」の「共通メモリー覧」をご参照ください。

4.10. ストレージ設定画面

ストレージ機能の動作を設定します。

設定画面 **ストレージ設定**

① スロット番号 **56**
 ② 先頭 I/O 番号 **3456**
 ③ バンク No. **56**

③ 1点目 2点目

1点目
 測定対象 ④ 未設定 ホールド ⑤ 未設定

2点目
 測定対象 ⑥ 未設定 ホールド ⑦ 未設定

データクリアタイミング ⑧ 未設定

取り込み周期 ⑨ 23456 × ⑩ 未設定 → ⑪ 123456.000 秒

オーバーフロー時 ⑫ 未設定

⑬ ストレージデータ表示 ⑭ 設定読出 ⑮ 設定書込

⑯ 計算式 直接設定 センサヘッド 設定 キャリアブレーション 設定 入出力 設定 判定出力 設定 ストレージ 設定 測定画面

※画面切り替え時にデータ更新があった場合、設定書込ボタンを押していないと設定変更ウィンドウが表示します。

No.	項目	内容
1	スロット番号、先頭 I/O 番号	選択している UQ1-02 ユニットのスロット番号、先頭 I/O 番号を表示します。エリアをタッチすると「ユニット選択画面」へ切り替わります。
2	バンク No.	選択しているバンク番号を表示します。エリアをタッチすると「判定出力画面」へ切り替わります。
3	ストレージ点数	ストレージ対象を 1 点・2 点を選択します。
4	測定対象(1 点目)	ストレージデータを取得する対象を選択します。
5	ホールド(1 点目)	ストレージデータの測定対象のホールド設定をします。
6	測定対象(2 点目)	ストレージデータを取得する対象を選択します。
7	ホールド(2 点目)	ストレージデータの測定対象のホールド設定をします。
8	データクリアタイミング	データクリアタイミングを設定します。
9	取り込み周期	測定結果を保存する間隔を設定します。
10	サンプル周期	センサヘッドのサンプル周期を表示します。
11	統計サンプル時間	統計データで収集できる時間を表示します。 取り込み周期 × サンプル周期 × 統計データ点数 = 統計サンプル時間
12	オーバーフロー時	保存されたデータ点数が内部メモリの点数を超え、オーバーフローした

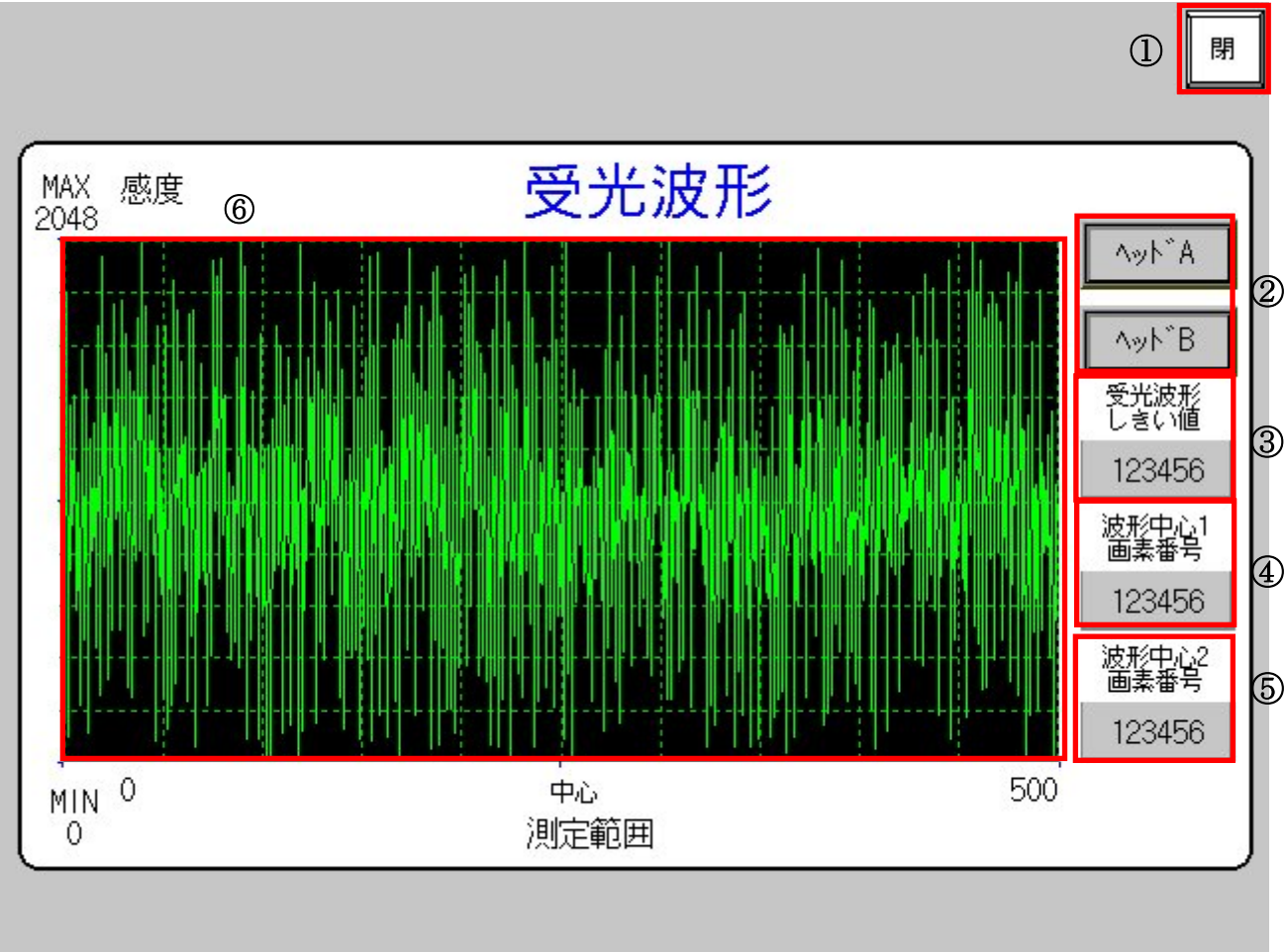
		際の動作を設定します。
13	ストレージデータ表示	ストレージデータ画面を切り替えます。
14	設定読出	センサの設定情報を本体からパラメータ情報を読出します。
15	設定書込	センサの設定を本体へパラメータ情報を書込みます。
16	設定画面切り替え	各画面へ切り替えます。

※各パラメータ設定の詳細内容は「UQ1-02 シリーズ、ユーザズマニュアル」の「共通メモリー覧」をご参照ください。

4.11. 受光波形画面

ヘッド A とヘッド B の受光波形を表示します。

受光波形のヘッドを選択すると選択したヘッドの受光波形が表示します。



No.	項目	内容
1	受光波形「閉」	受光波形のグラフを閉じます。
2	ヘッド選択	受光波形を表示するヘッドを表示します。
3	受光波形しきい値	受光波形のしきい値を表示します。
4	受光中心波形しきい値 1	受光波形の1点目を表示します。
5	受光中心波形しきい値 2	受光波形の2点目を表示します。
6	受光波形	受光波形を表示します。1秒間隔で更新します。

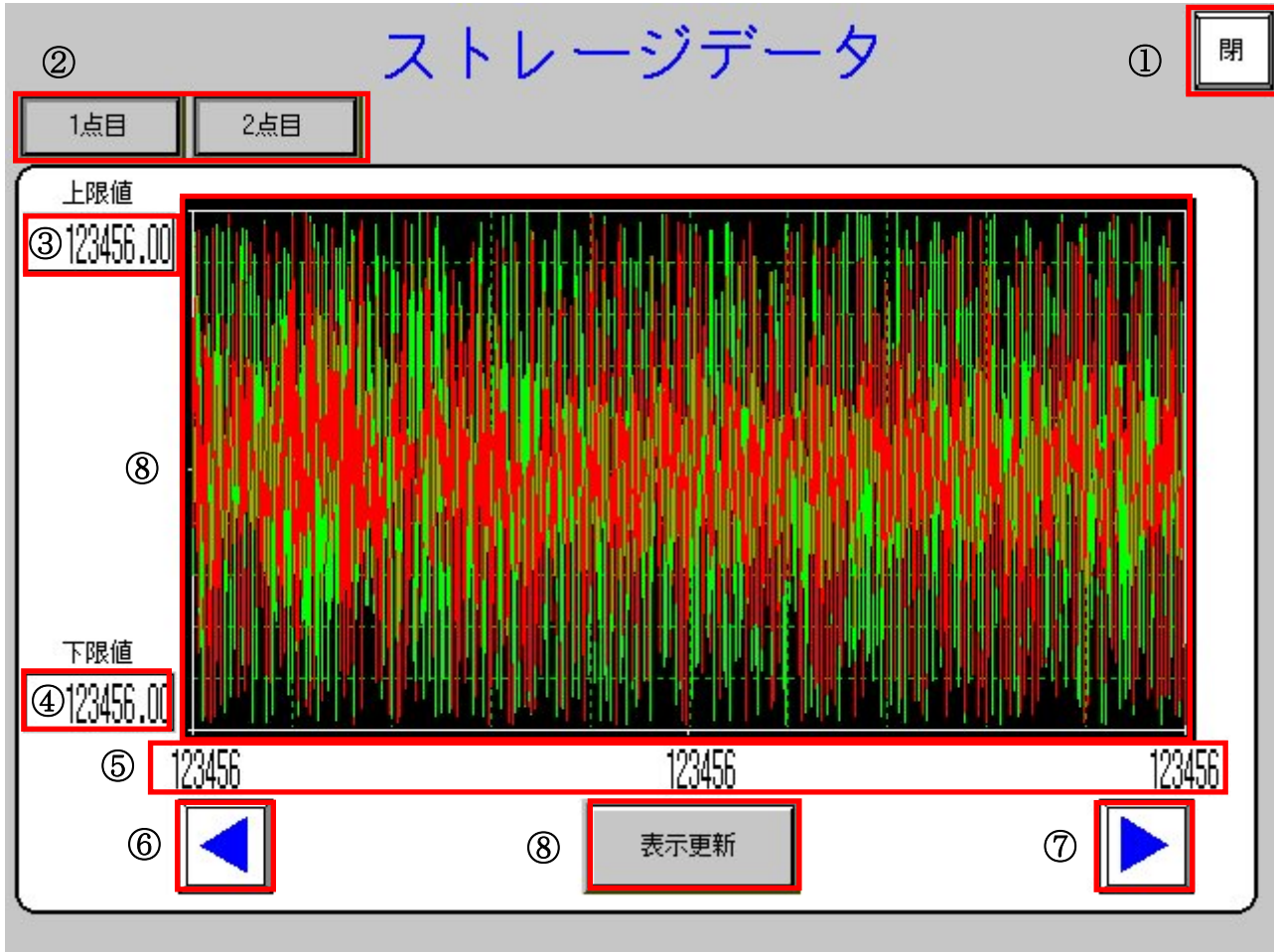
4.12. ストレージデータ画面

ストレージデータを表示します。

画面表示したときの最新データを表示します。(最新データ 500 点分)

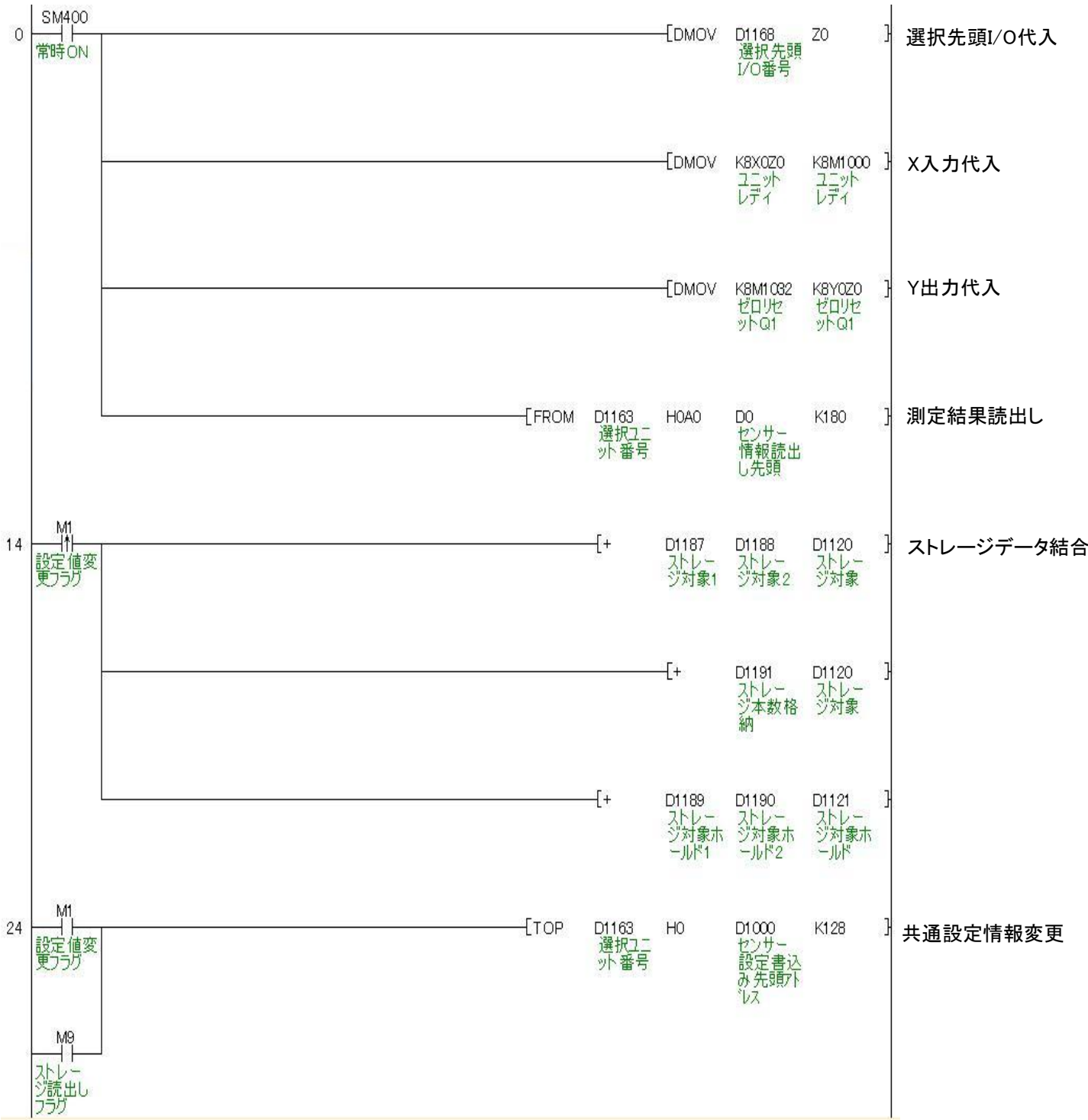
表示更新を押すとデータが更新します。

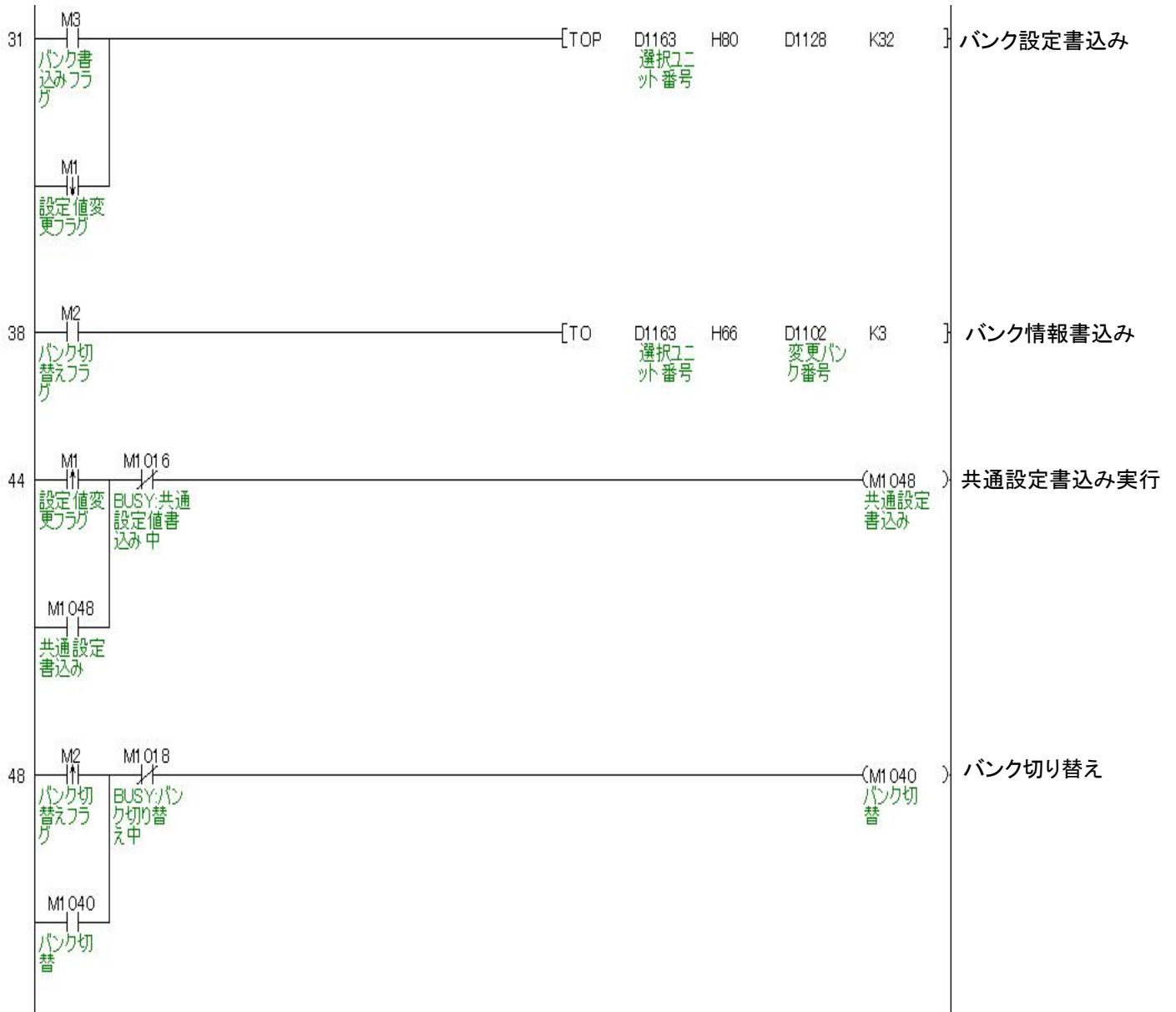
グラフの上限値・下限値を変更することができます。

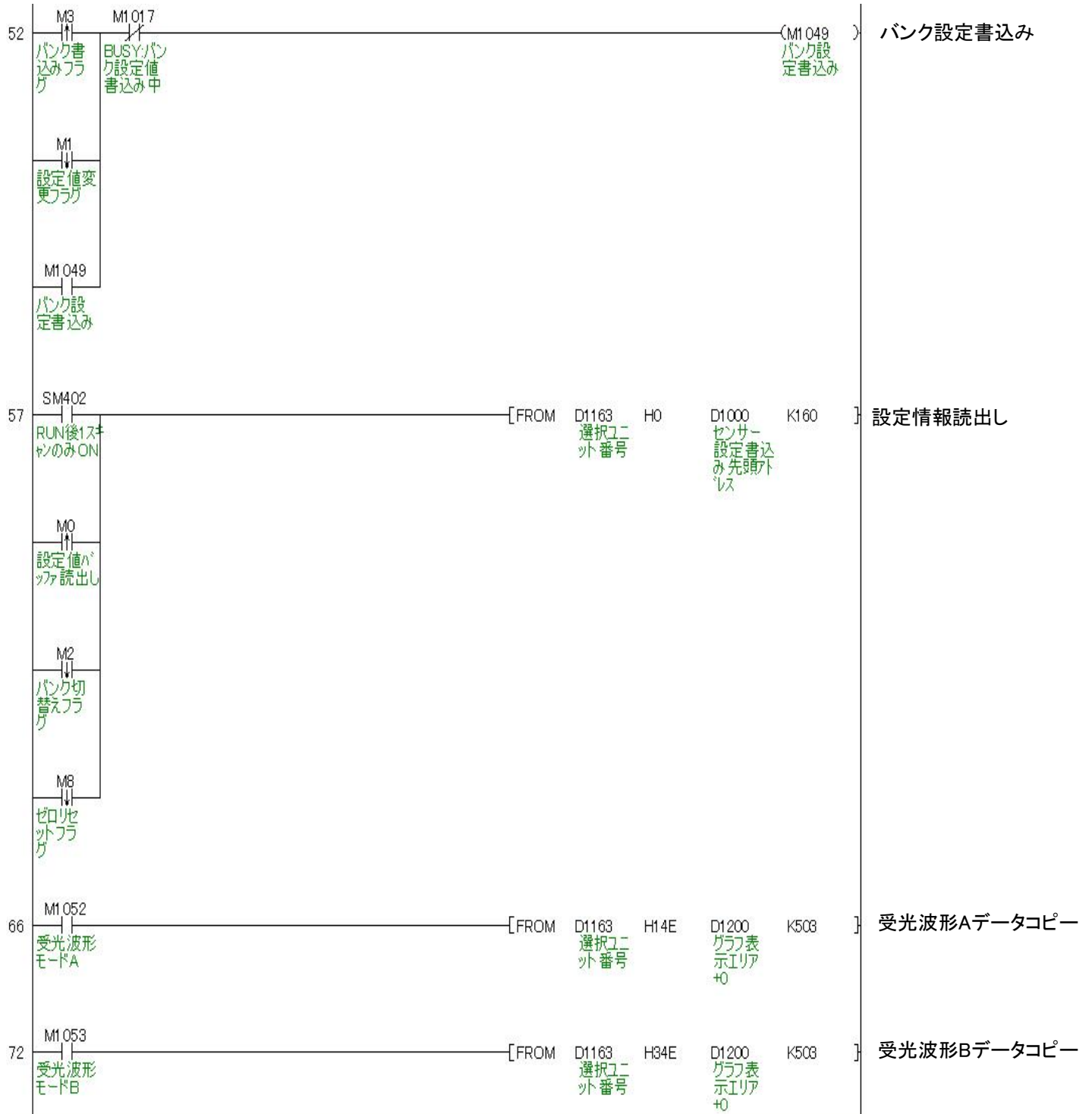


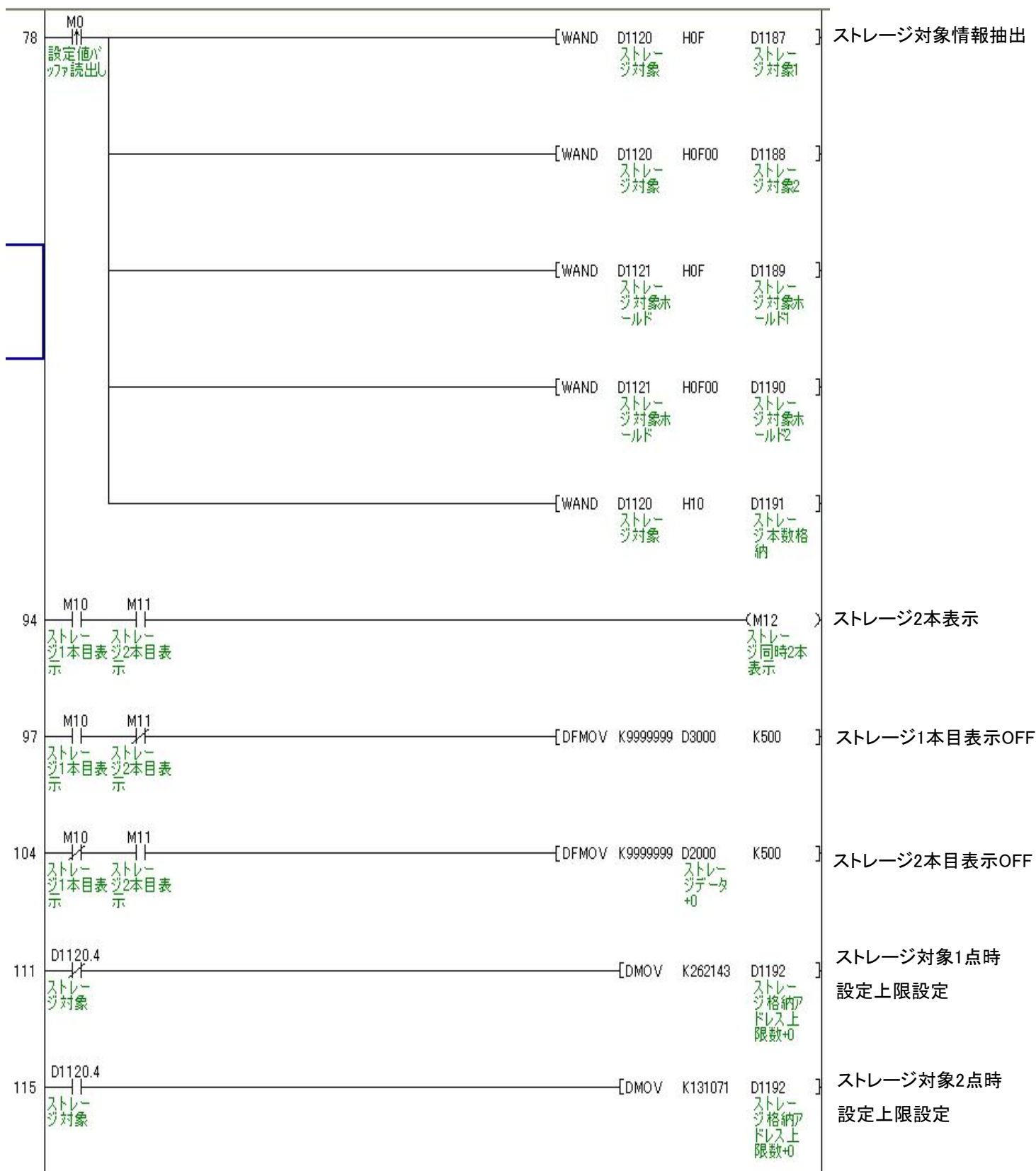
No.	項目	内容
1	閉	ストレージ画面を閉じます。
2	ストレージ点数	ストレージデータの表示点数を選択します。
3	グラフ上限値	グラフの上限値を設定します。 タッチするとテンキーが表示され値を入力できます。
4	グラフ下限値	グラフの下限値を設定します。 タッチするとテンキーが表示され値を入力できます。
5	ストレージ番号	表示しているストレージ番号を表示します。
6	ストレージの左スクロール	ストレージを左スクロールします。
7	ストレージの右スクロール	ストレージを右スクロールします。
8	表示更新	最新データの 500 点を表示します。
9	ストレージグラフ	ストレージデータのグラフ波形を表示します。

5. シーケンサプログラム

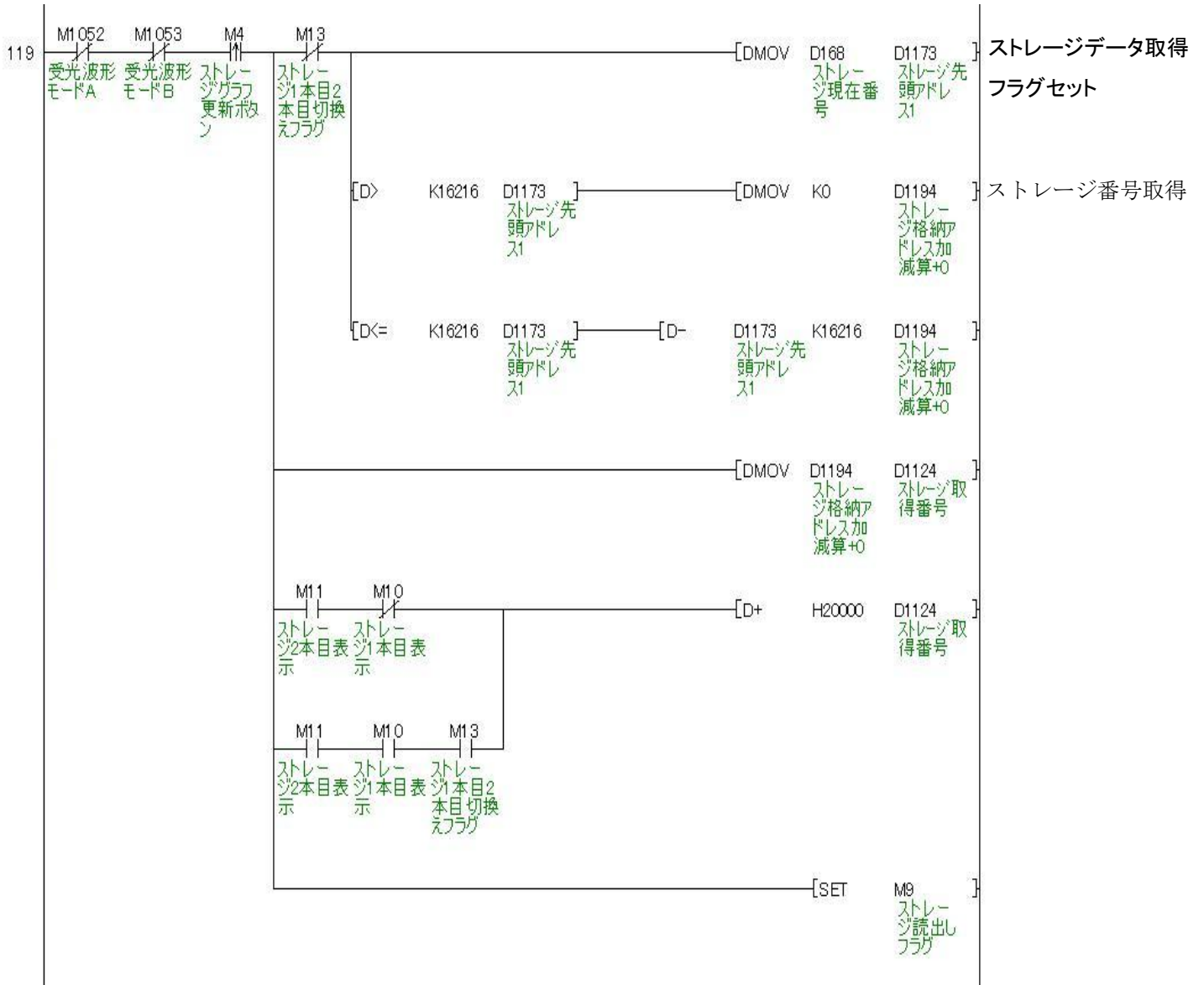




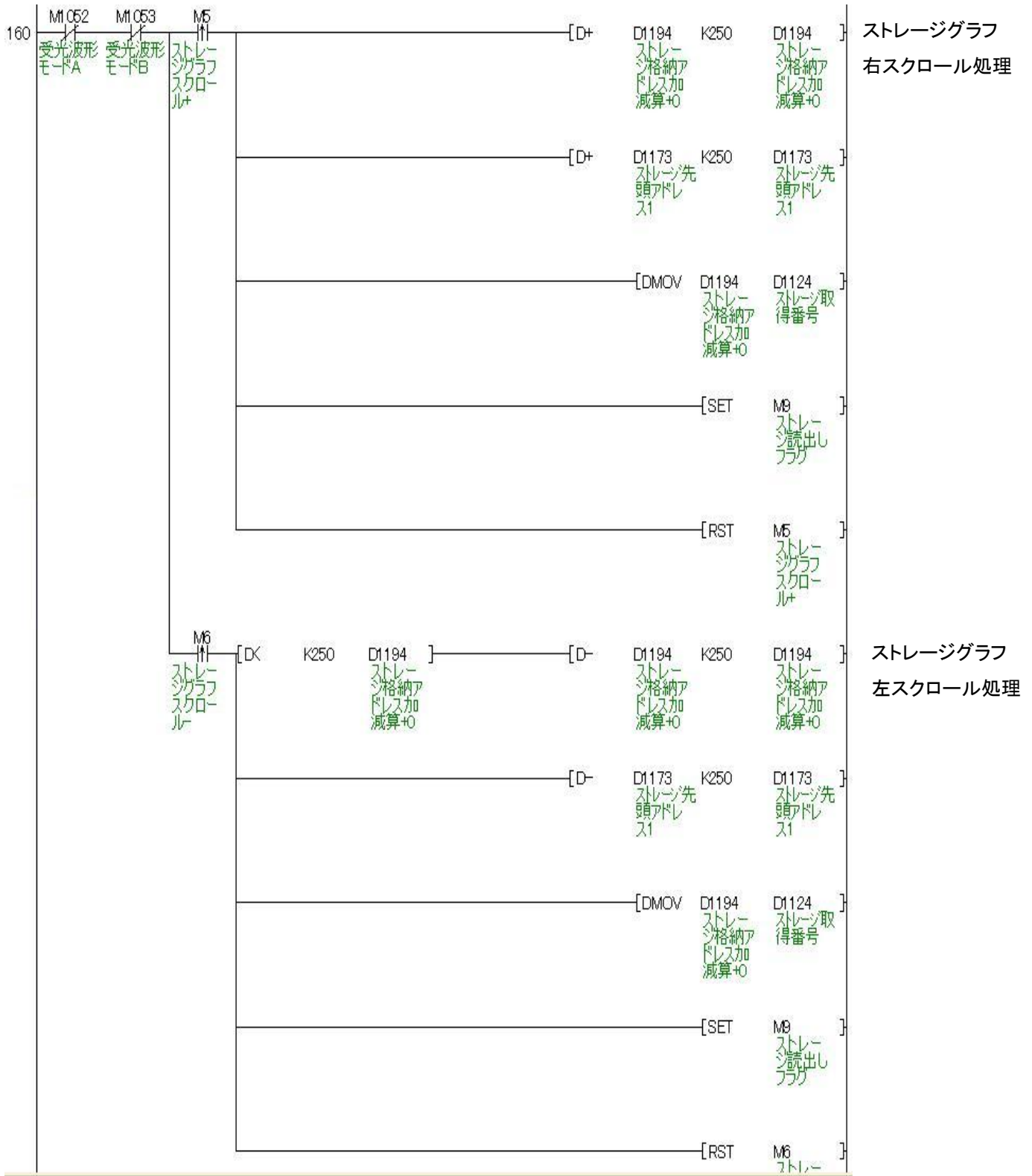


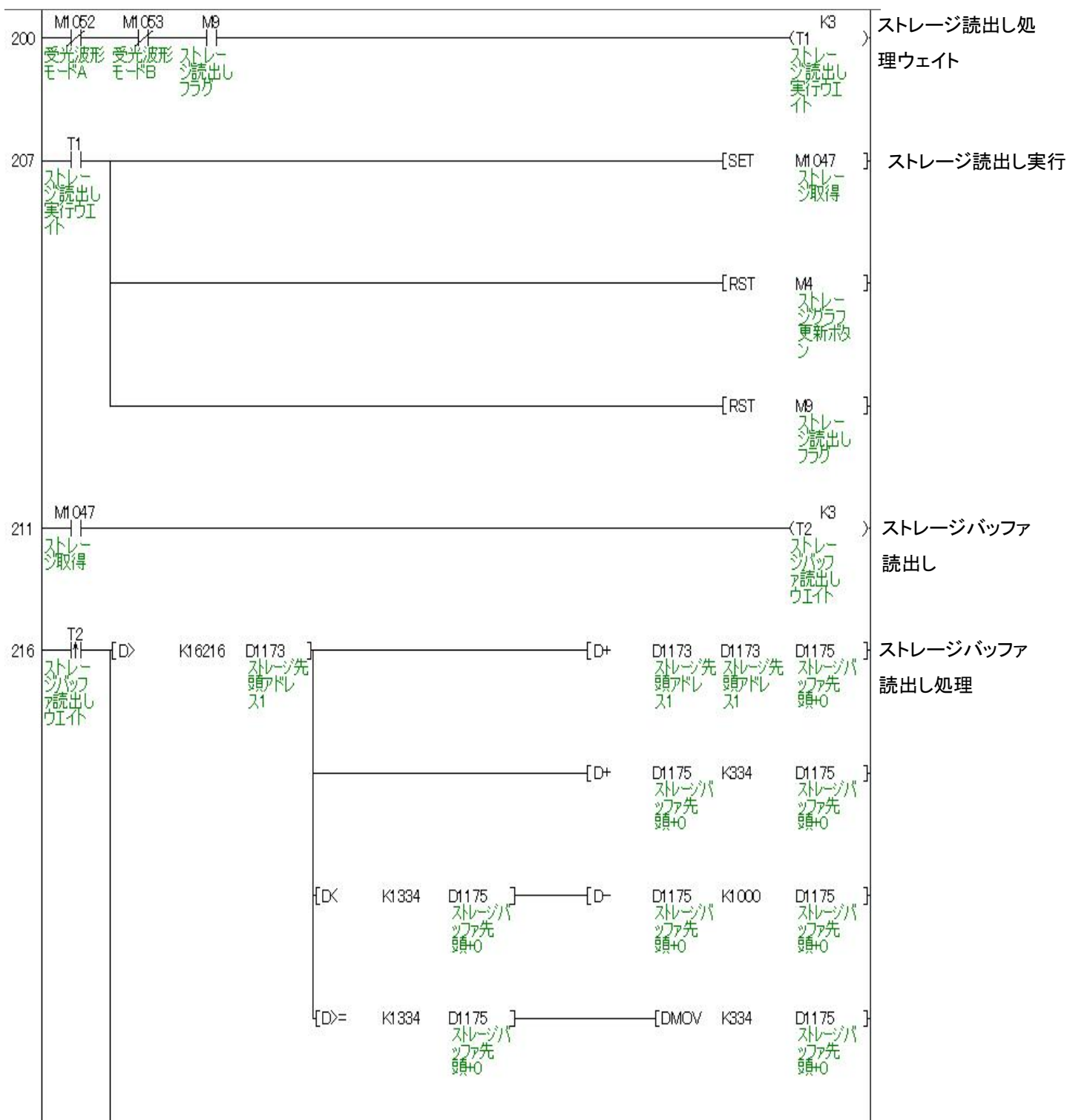


変位センサ接続ユニット UQ1-02 シリーズ タッチパネルマニュアル

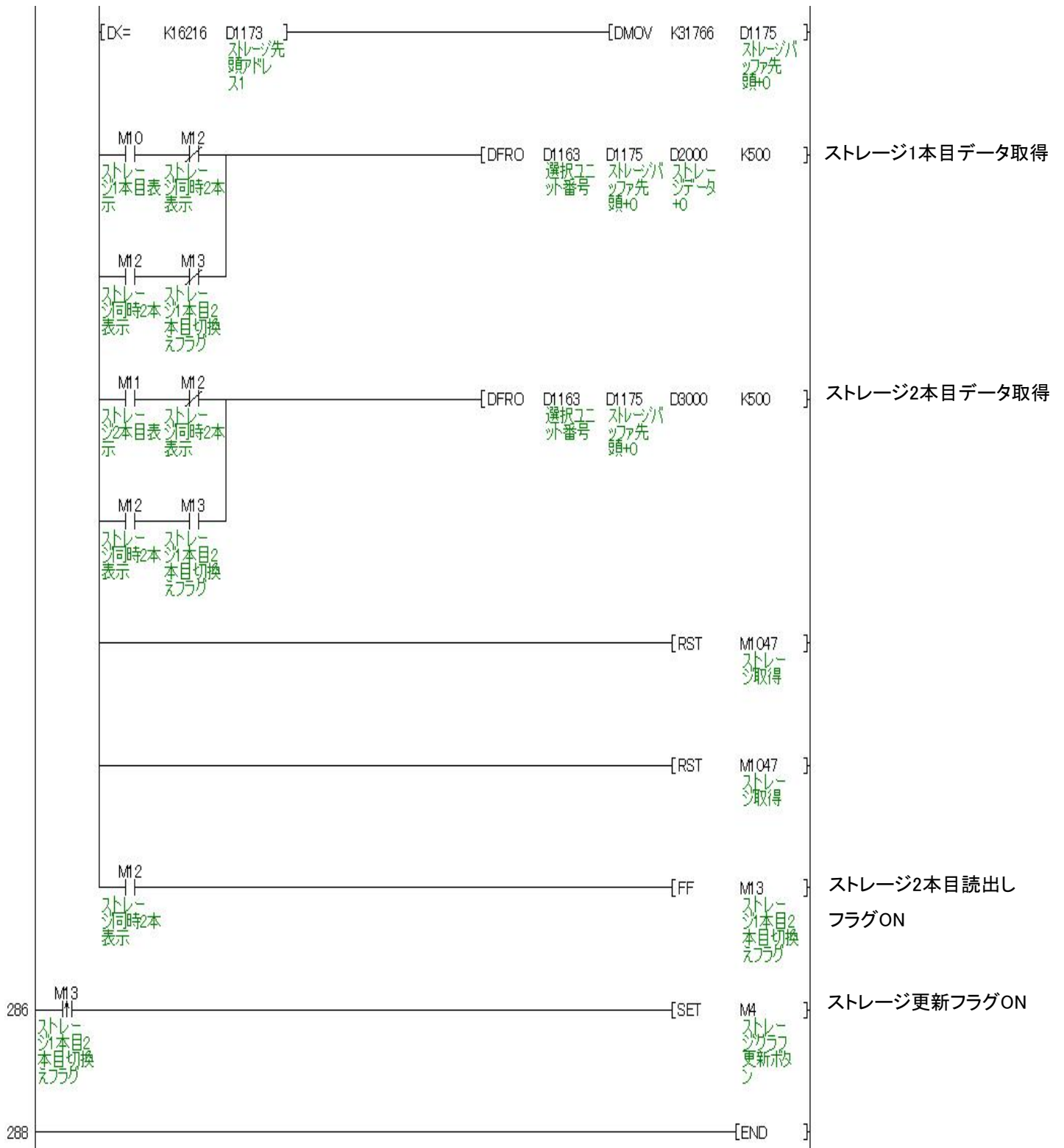


変位センサ接続ユニット UQ1-02 シリーズ タッチパネルマニュアル





変位センサ接続ユニット UQ1-02 シリーズ タッチパネルマニュアル



6. デバイス使用一覧

6.1. 三菱 GOT/QCPU の X/Y 割付一覧

QCPUの0スロット目にUQ1-02を装着した場合のデバイス一覧です。

GOTは選択したUQ1-02の選択したCHにあわせて表示を切り替えています。

デバイス情報の詳細は「UQ1-02シリーズユーザズマニュアル」の3.1共有メモリとXYデバイスを参照してください。

X(入力)				Y(出力)			
GOT	1CH	2CH	動作	GOT	1CH	2CH	動作
M1000	X0	X20	ユニットレディ	M1032	Y0	Y20	ゼロリセット Q1
M1001	X1	X21	Q1 上限 (0=上限未満,1=上限以上)	M1033	Y1	Y21	ゼロリセット Q2
M1002	X2	X22	Q1 下限 (0=下限より大,1=下限以下)	M1034	Y2	Y22	ゼロリセット Q3
M1003	X3	X23	Q2 上限	M1035	Y3	Y23	ゼロリセット Q4
M1004	X4	X24	Q2 下限	M1036	Y4	Y24	ゼロリセット Q5
M1005	X5	X25	Q3 上限	M1037	Y5	Y25	
M1006	X6	X26	Q3 下限	M1038	Y6	Y26	
M1007	X7	X27	Q4 上限	M1039	Y7	Y27	
M1008	X8	X28	Q4 下限	M1040	Y8	Y28	バンク切り替え
M1009	X9	X29	Q5 上限	M1041	Y9	Y29	RESET
M1010	XA	X2A	Q5 下限	M1042	YA	Y2A	Trigger IN A
M1011	XB	X2B	Q1 判定	M1043	YB	Y2B	Trigger IN B
M1012	XC	X2C	Q2 判定	M1044	YC	Y2C	Trigger IN 計算式 1
M1013	XD	X2D	Q3 判定	M1045	YD	Y2D	Trigger IN 計算式 2
M1014	XE	X2E	Q4 判定	M1046	YE	Y2E	Trigger IN 計算式 3
M1015	XF	X2F	Q5 判定	M1047	YF	Y2F	ストレージ取得
M1016	X10	X30	BUSY:共通設定値書込み中	M1048	Y10	Y30	共通設定書込み
M1017	X11	X31	BUSY:バンク設定値書込み中	M1049	Y11	Y31	バンク設定書込み
M1018	X12	X32	BUSY:バンク切り替え中	M1050	Y12	Y32	LESER OFF A
M1019	X13	X33	BUSY:ストレージ取得中	M1051	Y13	Y33	LESER OFF B
M1020	X14	X34	BUSY:ヘッド A 受光波形モード切り替え中	M1052	Y14	Y34	受光波形モード A
M1021	X15	X35	BUSY:ヘッド B 受光波形モード切り替え中	M1053	Y15	Y35	受光波形モード B
M1022	X16	X36	ヘッド A 計測外アラーム	M1054	Y16	Y36	エラー解除
M1023	X17	X37	ヘッド B 計測外アラーム	M1055	Y17	Y37	
M1024	X18	X38	A 接続エラー	M1056	Y18	Y38	
M1025	X19	X39	B 接続エラー	M1057	Y19	Y39	
M1026	X1A	X3A	受信データ エラー	M1058	Y1A	Y3A	
M1027	X1B	X3B	Q1 エラー(対象ユニット無し)	M1059	Y1B	Y3B	
M1028	X1C	X3C	Q2 エラー(対象ユニット無し)	M1060	Y1C	Y3C	
M1029	X1D	X3D	Q3 エラー(対象ユニット無し)	M1061	Y1D	Y3D	

M1030	X1E	X3E	Q4 エラー(対象ユニット無し)	M1062	Y1E	Y3E	
M1031	X1F	X3F	Q5 エラー(対象ユニット無し)	M1063	Y1F	Y3F	

6.2. 三菱 GOT のパラメーター一覧

ユニット内の共通情報をシーケンサ内のデバイスに割付しています。

デバイス情報		D デバイス	アドレス	U?¥G	初期値
ヘッド A 設定値 Y10=1 でヘッドと EEP に書き込み	測定対象	D1000	0000h	0	0
	未使用	D1001	0001h	0	0
	レーザ	D1002	0002h	1	0
	未使用	D1003	0003h	0	0
	未使用	D1004	0004h	0	0
	シフト	D1005	0005h	5	0
		D1006	0006h	6	
	スパン	D1007	0007h	7	2710h (10000)
		D1008	0008h	8	
	移動平均回数	D1009	0009h	9	1
	未使用				
	アラーム時挙動	D1010	000Ah	10	0
	サンプリング周波数	D1011	000Bh	11	0
	未使用	D1012	000Ch	12	
	未使用	D1013	000Dh	13	
ヘッド B 設定値 Y10=1 でヘッドと EEP に書き込み	測定対象	D1014	000Eh	14	0
	未使用	D1015	000Fh	15	0
	レーザ	D1016	0010h	16	0
	未使用	D1017	0011h	17	0
	未使用	D1018	0012h	18	0
	シフト	D1019	0013h	19	0
		D1020	0014h	20	
	スパン	D1021	0015h	21	2710h (10000)
		D1022	0016h	22	
	移動平均回数	D1023	0017h	23	1
	未使用				
	アラーム時挙動	D1024	0018h	24	0
	サンプリング周波数	D1025	0019h	25	3
	未使用	D1026	001Ah	26	
	未使用	D1027	001Bh	27	
		D1028	001Ch	28	0

UQ1-02 設定値 Y10=1 で EEP に書き込み			D1029	001Dh	29	0
			D1030	001Eh	30	0
	高速モード		D1031	001Fh	31	0
	判定設定	Q1 ソース	D1032	0020h	32	0
		Q1 ホールド	D1033	0021h	33	0
		Q2 ソース	D1034	0022h	34	1
		Q2 ホールド	D1035	0023h	35	0
		Q3 ソース	D1036	0024h	36	7
		Q3 ホールド	D1037	0025h	37	0
		Q4 ソース	D1038	0026h	38	7
		Q4 ホールド	D1039	0027h	39	0
		Q5 ソース	D1040	0028h	40	7
		Q5 ホールド	D1041	0029h	41	0
		計算ソース 1-1	D1042	002Ah	42	0
		計算ソース 1-2	D1043	002Bh	43	0
		計算ソース 1-3	D1044	002Ch	44	0
		計算ソース 1-4	D1045	002Dh	45	0
		計算ソース 1-5	D1046	002Eh	46	0
		未使用	D1047	002Fh	47	
		固定値: 計算ソース 1-1	D1048	0030h	48	0
			D1049	0031h	49	
		固定値: 計算ソース 1-2	D1050	0032h	50	0
			D1051	0033h	51	
		固定値: 計算ソース 1-3	D1052	0034h	52	0
			D1053	0035h	53	
		固定値: 計算ソース 1-4	D1054	0036h	54	0
			D1055	0037h	55	
		固定値: 計算ソース 1-5	D1056	0038h	56	0
			D1057	0039h	57	
		演算子 1-1	D1058	003Ah	58	0
		演算子 1-2	D1059	003Bh	59	0
		演算子 1-3	D1060	003Ch	60	0
		演算子 1-4	D1061	003Dh	61	0
		計算ソース 2-1	D1062	003Eh	62	0
		計算ソース 2-2	D1063	003Fh	63	0
		計算ソース 2-3	D1064	0040h	64	0
		計算ソース 2-4	D1065	0041h	65	0

		計算ソース 2-5	D1066	0042h	66	0
		未使用	D1067	0043h	67	
		固定値: 計算ソース 2-1	D1068	0044h	68	0
			D1069	0045h	69	
		固定値: 計算ソース 2-2	D1070	0046h	70	0
			D1071	0047h	71	
		固定値: 計算ソース 2-3	D1072	0048h	72	0
			D1073	0049h	73	
		固定値: 計算ソース 2-4	D1074	004Ah	74	0
			D1075	004Bh	75	
		固定値: 計算ソース 2-5	D1076	004Ch	76	0
			D1077	004Dh	77	
		演算子 2-1	D1078	004Eh	78	0
		演算子 2-2	D1079	004Fh	79	0
		演算子 2-3	D1080	0050h	80	0
		演算子 2-4	D1081	0051h	81	0
		計算ソース 3-1	D1082	0052h	82	0
		計算ソース 3-2	D1083	0053h	83	0
		計算ソース 3-3	D1084	0054h	84	0
		計算ソース 3-4	D1085	0055h	85	0
		計算ソース 3-5	D1086	0056h	86	0
		未使用	D1087	0057h	87	
		固定値: 計算ソース 3-1	D1088	0058h	88	0
			D1089	0059h	89	
		固定値: 計算ソース 3-2	D1090	005Ah	90	0
			D1091	005Bh	91	
		固定値: 計算ソース 3-3	D1092	005Ch	92	0
			D1093	005Dh	93	
		固定値: 計算ソース 3-4	D1094	005Eh	94	0
			D1095	005Fh	95	
		固定値: 計算ソース 3-5	D1096	0060h	96	0

			D1097	0061h	97	
		演算子 3-1	D1098	0062h	98	0
		演算子 3-2	D1099	0063h	99	0
		演算子 3-3	D1100	0064h	100	0
		演算子 3-4	D1101	0065h	101	0
	その他	変更バンク No.	D1102	0066h	102	0
		ホールドモード	D1103	0067h	103	0
		ヒステリシス	D1104	0068h	104	0
			D1105	0069h	105	
	出力設定	オンディレイ	D1106	006Ah	106	0
		オフディレイ	D1107	006Bh	107	0
		ワンショット	D1108	006Ch	108	0
		送信データ設定 1	D1109	006Dh	109	0
		送信データ設定 1 ホールド	D1110	006Eh	110	0
		送信データ設定 2	D1111	006Fh	111	1
		送信データ設定 2 ホールド	D1112	0070h	112	0
		Signal Out 1	D1113	0071h	113	0
		Signal Out 2	D1114	0072h	114	1
		出力論理	D1115	0073h	115	0
	入力設定	Trigger データ取得方法	D1116	0074h	116	0
		Trigger IN 1	D1117	0075h	117	0
		Trigger IN 2	D1118	0076h	118	1
	ストレージ設定	ストレージデータ取得周期	D1119	0077h	119	
		ストレージ対象	D1120	0078h	120	0
		ストレージ対象ホールド	D1121	0079h	121	0
		データクリアタイミング	D1122	007Ah	122	1
		オーバーフロー処理	D1123	007Bh	123	1
		ストレージ取得番号	D1124	007Ch	124	0
			D1125	007Dh	125	
		入力フィルタ(入力時定数)	D1126	007Eh	126	0
初期化		初期化	D1127	007Fh	127	0101h
バンク別 設定値	判定設定	Q1 上限	D1128	0080h	128	47868C0h
			D1129	0081h	129	(75000000)
		Q1 下限	D1130	0082h	130	0FB879741h
			D1131	0083h	131	(-75000000)

		Q2 上限	D1132	0084h	132	47868C0h		
			D1133	0085h	133	(75000000)		
		Q2 下限	D1134	0086h	134	0FB879741h		
			D1135	0087h	135	(-75000000)		
		Q3 上限	D1136	0088h	136	47868C0h		
			D1137	0089h	137	(75000000)		
		Q3 下限	D1138	008Ah	138	0FB879741h		
			D1139	008Bh	139	(-75000000)		
		Q4 上限	D1140	008Ch	140	47868C0h		
			D1141	008Dh	141	(75000000)		
		Q4 下限	D1142	008Eh	142	0FB879741h		
			D1143	008Fh	143	(-75000000)		
		Q5 上限	D1144	0090h	144	47868C0h		
			D1145	0091h	145	(75000000)		
		Q5 下限	D1146	0092h	146	0FB879741h		
			D1147	0093h	147	(-75000000)		
		オフセット Q1	D1148	0094h	148	0		
			D1149	0095h	149			
		オフセット Q2	D1150	0096h	150	0		
			D1151	0097h	151			
		オフセット Q3	D1152	0098h	152	0		
			D1153	0099h	153			
		オフセット Q4	D1154	009Ah	154	0		
			D1155	009Bh	155			
		オフセット Q5	D1156	009Ch	156	0		
			D1157	009Dh	157			
				未使用	D1158	009Eh	158	
				未使用	D1159	009Fh	159	
デバイス情報			D デバイス	アドレス	U?YG	初期値		
結果	判定出力	Q1	D0000	00A0h	160			
			D0001	00A1h	161			
		Q2	D0002	00A2h	162			
			D0003	00A3h	163			
		Q3	D0004	00A4h	164			
			D0005	00A5h	165			
		Q4	D0006	00A6h	166			

			D0007	00A7h	167	
		Q5	D0008	00A8h	168	
			D0009	00A9h	169	
	機種	ヘッド A 中心距離	D0010	00AAh	170	機種の固定値
			D0011	00ABh	171	
		ヘッド B 中心距離	D0012	00ACh	172	機種の固定値
			D0013	00ADh	173	
		未使用	D0014	00AEh	174	
		未使用	D0015	00AFh	175	
	測定値	ヘッド A	D0016	00B0h	176	
			D0017	00B1h	177	
		ヘッド A ホールド (サンプル)	D0018	00B2h	178	
			D0019	00B3h	179	
		ヘッド A MAX 値 (オートピーク)	D0020	00B4h	180	
			D0021	00B5h	181	
		ヘッド A MAX ホールド値 (ピーク)	D0022	00B6h	182	
			D0023	00B7h	183	
		ヘッド A MIN 値 (オートボトム)	D0024	00B8h	184	
			D0025	00B9h	185	
		ヘッド A MIN ホールド値 (ボトム)	D0026	00BAh	186	
			D0027	00BBh	187	
		ヘッド A PP 値 (オート PP)	D0028	00BCh	188	
			D0029	00BDh	189	
		ヘッド A PP ホールド値 (ピークピーク)	D0030	00BEh	190	
			D0031	00BFh	191	
		ヘッド A 平均値 (オート平均)	D0032	00C0h	192	
			D0033	00C1h	193	
		ヘッド A 平均ホールド値 (平均)	D0034	00C2h	194	
			D0035	00C3h	195	
		ヘッド A カウント	D0036	00C4h	196	
			D0037	00C5h	197	
		ヘッド B	D0038	00C6h	198	
			D0039	00C7h	199	
		ヘッド B ホールド (サンプル)	D0040	00C8h	200	
			D0041	00C9h	201	
		ヘッド B MAX 値 (オートピーク)	D0042	00CAh	202	
			D0043	00CBh	203	

		ヘッド B MAX ホールド値 (ピーク)	D0044	00CCh	204	
			D0045	00CDh	205	
		ヘッド B MIN 値 (オートボトム)	D0046	00CEh	206	
			D0047	00CFh	207	
		ヘッド B MIN ホールド値 (ボトム)	D0048	00D0h	208	
			D0049	00D1h	209	
		ヘッド B PP 値 (オート PP)	D0050	00D2h	210	
			D0051	00D3h	211	
		ヘッド B PP ホールド値 (ピークピーク)	D0052	00D4h	212	
			D0053	00D5h	213	
		ヘッド B 平均値 (オート平均)	D0054	00D6h	214	
			D0055	00D7h	215	
		ヘッド B 平均ホールド値 (平均)	D0056	00D8h	216	
			D0057	00D9h	217	
		ヘッド B カウント	D0058	00DAh	218	
			D0059	00DBh	219	
		計算式 1	D0060	00DCh	220	
			D0061	00DDh	221	
		計算式 1 ホールド (サンプル)	D0062	00DEh	222	
			D0063	00DFh	223	
		計算式 1 MAX 値 (オートピーク)	D0064	00E0h	224	
			D0065	00E1h	225	
		計算式 1 MAX ホールド値 (ピーク)	D0066	00E2h	226	
			D0067	00E3h	227	
		計算式 1 MIN 値 (オートボトム)	D0068	00E4h	228	
			D0069	00E5h	229	
		計算式 1 MIN ホールド値 (ボトム)	D0070	00E6h	230	
			D0071	00E7h	231	
		計算式 1 PP 値 (オート PP)	D0072	00E8h	232	
			D0073	00E9h	233	
		計算式 1 PP ホールド値 (ピークピーク)	D0074	00EAh	234	
			D0075	00EBh	235	
		計算式 1 平均値 (オート平均)	D0076	00ECh	236	
			D0077	00EDh	237	
		計算式 1 平均ホールド値 (平均)	D0078	00EEh	238	
			D0079	00EFh	239	
		計算式 1 カウント	D0080	00F0h	240	

			D0081	00F1h	241	
	計算式 2		D0082	00F2h	242	
			D0083	00F3h	243	
	計算式 2 ホールド (サンプル)		D0084	00F4h	244	
			D0085	00F5h	245	
	計算式 2 MAX 値 (オートピーク)		D0086	00F6h	246	
			D0087	00F7h	247	
	計算式 2 MAX ホールド値 (ピーク)		D0088	00F8h	248	
			D0089	00F9h	249	
	計算式 2 MIN 値 (オートボトム)		D0090	00FAh	250	
			D0091	00FBh	251	
	計算式 2 MIN ホールド値 (ボトム)		D0092	00FCh	252	
			D0093	00FDh	253	
	計算式 2 PP 値 (オート PP)		D0094	00FEh	254	
			D0095	00FFh	255	
	計算式 2 PP ホールド値 (ピークピーク)		D0096	0100h	256	
			D0097	0101h	257	
	計算式 2 平均値 (オート平均)		D0098	0102h	258	
			D0099	0103h	259	
	計算式 2 平均ホールド値 (平均)		D0100	0104h	260	
			D0101	0105h	261	
	計算式 2 カウント		D0102	0106h	262	
			D0103	0107h	263	
	計算式 3		D0104	0108h	264	
			D0105	0109h	265	
	計算式 2 ホールド (サンプル)		D0106	010Ah	266	
			D0107	010Bh	267	
	計算式 3 MAX 値 (オートピーク)		D0108	010Ch	268	
			D0109	010Dh	269	
	計算式 3 MAX ホールド値 (ピーク)		D0110	010Eh	270	
			D0111	010Fh	271	
	計算式 3 MIN 値 (オートボトム)		D0112	0110h	272	
			D0113	0111h	273	
	計算式 3 MIN ホールド値 (ボトム)		D0114	0112h	274	
			D0115	0113h	275	
	計算式 2 PP 値 (オート PP)		D0116	0114h	276	
			D0117	0115h	277	

		計算式 2 PP ホールド値 (ピークピーク)	D0118	0116h	278	
			D0119	0117h	279	
		計算式 3 平均値 (オート平均)	D0120	0118h	280	
			D0121	0119h	281	
		計算式 3 平均ホールド値 (平均)	D0122	011Ah	282	
			D0123	011Bh	283	
		計算式 3 カウント	D0124	011Ch	284	
			D0125	011Dh	285	
		スレーブ 1	D0126	011Eh	286	
			D0127	011Fh	287	
		スレーブ 2	D0128	0120h	288	
			D0129	0121h	289	
		未使用	D0130	0122h	290	
		未使用	D0131	0123h	291	
		未使用	D0132	0124h	292	
		未使用	D0133	0125h	293	
		未使用	D0134	0126h	294	
		未使用	D0135	0127h	295	
	計算途中結果	計算式 1 (計算途中結果 1)	D0136	0128h	296	
			D0137	0129h	297	
		計算式 1 (計算途中結果 2)	D0138	012Ah	298	
			D0139	012Bh	299	
		計算式 1 (計算途中結果 3)	D0140	012Ch	300	
			D0141	012Dh	301	
		計算式 2 (計算途中結果 1)	D0142	012Eh	302	
			D0143	012Fh	303	
		計算式 2 (計算途中結果 2)	D0144	0130h	304	
			D0145	0131h	305	
		計算式 2 (計算途中結果 3)	D0146	0132h	306	
			D0147	0133h	307	
		計算式 3 (計算途中結果 1)	D0148	0134h	308	
			D0149	0135h	309	
		計算式 3 (計算途中結果 2)	D0150	0136h	310	
			D0151	0137h	311	
		計算式 3 (計算途中結果 3)	D0152	0138h	312	
			D0153	0139h	313	
		未使用	D0154	013Ah	314	

		未使用		D0155	013Bh	315	
		未使用		D0156	013Ch	316	
		未使用		D0157	013Dh	317	
		未使用		D0158	013Eh	318	
		未使用		D0159	013Fh	319	
エラー状態	演算オーバーフロー	計算式 1		D0160	0140h	320	
		計算式 2					
		計算式 3					
		ヘッドA					
		ヘッドB					
	通信エラー			D0161	0141h	321	
	未使用			D0162	0142h	322	
	未使用			D0163	0143h	323	
本体状態	現在バンク番号			D0164	0144h	324	0
	バージョン			D0165	0145h	325	
	使用状態			D0166	0146h	326	0
	処理時間			D0167	0147h	327	
	ストレージ現在番号			D0168	0148h	328	
				D0169	0149h	329	
	ストレージデータオーバーフロー			D0170	014Ah	330	
	未使用			D0171	014Bh	331	
	未使用			D0172	014Ch	332	
	未使用			D0173	014Dh	333	

変位センサ接続ユニット UQ1-02 シリーズ タッチパネルマニュアル

No	ワードデバイス	タイプ	コメント
1	D1160	ワード	用途演算設定
2	D1161	ワード	予備
3	D1162	ワード	予備
4	D1163	ワード	選択ユニット番号
5	D1164	ワード	UQ1-02_1 ユニット番号
6	D1165	ワード	UQ1-02_2 ユニット番号
7	D1166	ワード	UQ1-02_3 ユニット番号
8	D1167	ワード	UQ1-02_4 ユニット番号
9	D1168	ワード	選択先頭 I/O 番号
10	D1169	ワード	UQ1-02_1 先頭 I/O 番号
11	D1170	ワード	UQ1-02_2 先頭 I/O 番号
12	D1171	ワード	UQ1-02_3 先頭 I/O 番号
13	D1172	ワード	UQ1-02_4 先頭 I/O 番号
14	D1173	ワード	ストレージ先頭アドレス 1+1
15	D1174	ワード	ストレージ先頭アドレス 1+2
16	D1175	ワード	ストレージ先頭アドレス 2+1
17	D1176	ワード	ストレージ先頭アドレス 2+2
18	D1177	ワード	トレンドグラフ下限スケール+0
19	D1178	ワード	トレンドグラフ下限スケール+1
20	D1179	ワード	トレンドグラフ上限スケール+0
21	D1180	ワード	トレンドグラフ上限スケール+1
22	D1181	ワード	トレンドグラフ情報+0
23	D1182	ワード	トレンドグラフ情報+1
24	D1183	ワード	取り込み周期入力値
25	D1184	ワード	言語切り替えデバイス
26	D1185	ワード	GOT 表示ストレージ先頭+0
27	D1186	ワード	GOT 表示ストレージ先頭+1
28	D1187	ワード	ストレージ対象 1
29	D1188	ワード	ストレージ対象 2
30	D1189	ワード	ストレージ対象ホールド 1
31	D1190	ワード	ストレージ対象ホールド 2
32	D1191	ワード	ストレージ本数格納
33	D1192	ワード	ストレージ格納アドレス上限数+0
34	D1193	ワード	ストレージ格納アドレス上限数+1
35	D1194	ワード	ストレージ格納アドレス加減算+0

36	D1195	ワード	ストレージ格納アドレス加減算+1
37	D1196	ワード	ストレージバッファ
38	D1200～D1699	ワード	受光波形データ
39	D2000～D2999	ワード	ストレージグラフ 1 点目
40	D3000～D3999	ワード	ストレージグラフ 2 点目
No	ビットデバイス	タイプ	コメント
1	M0000	ビット	設定値バッファ読出し
2	M0001	ビット	設定値変更フラグ
3	M0002	ビット	バンク切り替えフラグ
4	M0003	ビット	バンク書込みフラグ
5	M0004	ビット	ストレージグラフ更新ボタン
6	M0005	ビット	ストレージグラフ右スクロール
7	M0006	ビット	ストレージグラフ左スクロール
8	M0007	ビット	設定書込バンク書込
9	M0008	ビット	ゼロリセットフラグ
10	M0009	ビット	ストレージ読出しフラグ
11	M0010	ビット	ストレージ 1 本目表示
12	M0011	ビット	ストレージ 2 本目表示
13	M0012	ビット	ストレージ同時 2 本表示
14	M0013	ビット	ストレージ 1 本目 2 本目切り替えフラグ

オプテックス・エフエー株式会社

本社:

〒600-8815
京都市下京区中堂寺栗田町91
京都リサーチパーク9号館 4F
TEL: 075-325-2920

東京営業所:

〒141-0031
東京都品川区西五反田4-32-1
東京日産西五反田ビル 10F
TEL: 03-5740-7851

名古屋営業所:

〒465-0041
名古屋市名東区朝日が丘2番地 TSビル1F
TEL: 052-776-7300

九州営業所:

〒810-0001
福岡市中央区天神3-9-25
東晴天神ビルディング8F
TEL: 092-739-6230

オプテックス・エフエー ホームページ

<http://www.optex-fa.jp>